

令和5年度
第2回地域公共交通協議会

【議案書】

日時：令和5年10月11日（水）

午後3時00分～

会場：三芳町総合体育館研修室

第2回三芳町地域公共交通協議会

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

第1号議案 各種調査の実施について

第2号議案 町民アンケート調査項目について

4 報 告

・地域及び公共交通に関する現状整理の進捗状況について

5 閉 会

第1号議案

各種調査の実施について

三芳町地域公共交通計画の策定に係る各種調査（町民アンケート調査及び事業者ヒアリング調査）について、別紙のとおり実施するものとする。

三芳町地域公共交通計画策定委託

調査計画書（案）

令和5年10月



[目次]

1. 公共交通に関するニーズ調査	1
1-1 町民アンケート調査.....	1
1-2 事業者ヒアリング調査.....	6

1. 公共交通に関するニーズ調査

1-1 町民アンケート調査

1-1-1 調査概要

地区別に住民の移動実態やニーズを把握し、現行の路線網及び運行ダイヤを照らし合わせて、ニーズとのズレや問題点を整理し、公共交通の再編に向けた改善策の検討に活用する。

併せて、公共交通に対する意識を把握し、今後、求める公共交通などの意向把握を行うことを検討する。

表1 住民アンケート概要（案）

調査概要	
調査対象	<ul style="list-style-type: none">・合計 2,000 票を配布。※回収率は 35%程度を想定。・対象世帯については、全町民から無作為抽出（10月協議会にて最終協議）・QRコードやURLを設定し、Web上からも回答できるようにする。
調査内容	【調査項目】
	◆日常の外出状況 ・目的別（通勤、通学、通院、買物等）の外出頻度、移動時間、移動手段、目的地
	◆公共交通の利用状況 ・公共交通の利用有無、利用している公共交通、利用バス停・鉄道駅、利用時間帯、利用する理由、利用しない理由、公共交通による外出時の問題点等
	◆利用していない理由 ・登録しているものの、利用していない理由
	◆公共交通の満足度 ・運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗継、車両、バス停、情報提供等 ・公共交通ネットワークの改善点 ◆今後の公共交通施策について ・免許保有状況、自家用車両の運転 ・今後の取組みに向けて重視すべき点

表2 調査実施の役割分担（案）

項目	委託者	受託者
調査の準備	<ul style="list-style-type: none">・対象者の無作為抽出・宛名ラベル・添付資料（路線図）の作成	<ul style="list-style-type: none">・調査計画・調査票の作成・調査票等の印刷・封入・ラベル貼り
調査の実施		<ul style="list-style-type: none">・調査票の配布・調査票の回収
調査とりまとめ	<ul style="list-style-type: none">・調査結果の確認	<ul style="list-style-type: none">・入力、集計、分析・調査結果のとりまとめ

1-1-2 配布・回収方法等

(1) 配布物

○本調査では、下表の3種類の印刷物を作成、下表に示す①に②～③を封入・封緘した上で、無作為に抽出する対象者の宛名ラベルを貼付し、郵便局に投函する。

表3 配布物の概要

項目	内容
①配布用封筒	・角型2号サイズ
②アンケート調査票	・A4サイズ、白黒、8～12ページ ※1ページ目または別紙にて挨拶文・調査依頼文を記載 ※町作成のライフバス主要バス停時刻表も同封
③返信用封筒	・長型3号サイズ

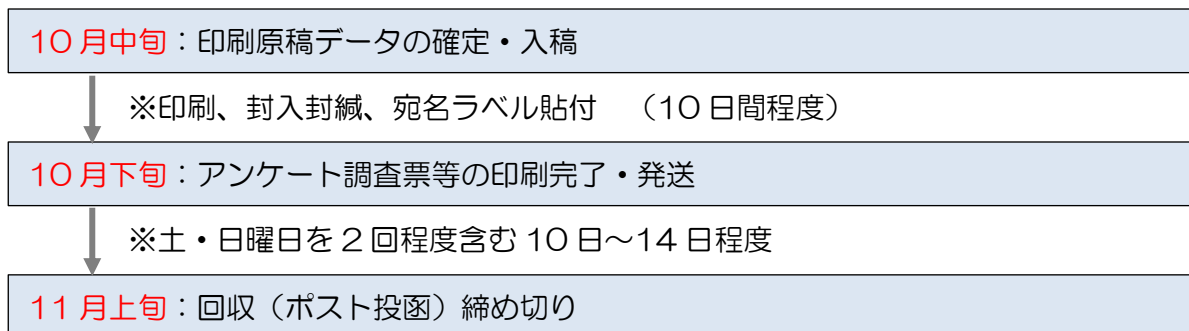
(2) 配布・回収方法

○配布および回収は、郵送で行う。

○配布用および返信用の封筒は、KCSが準備し、KCSが印刷・封入を行う。

(3) 実施スケジュール

○実施スケジュールは以下のとおり。



〔調査実施スケジュールの考え方〕

※一般的に、住民アンケート調査等では、回収票の大部分が配布から10日～2週間程度の期間に集中、その後はほとんど回収が見られないことから、**投函締め切りは発送から概ね10日後に設定**（短めに設定することで“忘れられる”ことを回避、ただし投函締め切り後の到着分についても分析にはできる限り反映）
※なお、対象者の回答記入時間が確保されやすいと考えられる「週末」を、配布から投函締め切りまでの間に2回挟む形で調査期間を設定

(4) アンケート調査票の返送先

○返送先はKCS東京支社とする。回収率確保のため、返信用封筒には「三芳町 地域公共交通会議事務局 扱い 【調査会社】株式会社ケー・シー・エス東京支社」とする。

○KCSは調査票を回収次第、入力・集計・分析を行う。投函締め切り日から郵送の時間を考慮し、締切以降の回収票については、状況に応じて集計対象とする。

○次回公共交通会議での資料掲載に向けて、速報版の分析を行う。

1-1-3 調査票の作成

(1) 調査項目の整理

○以下にアンケート調査で把握すべき項目を整理した。

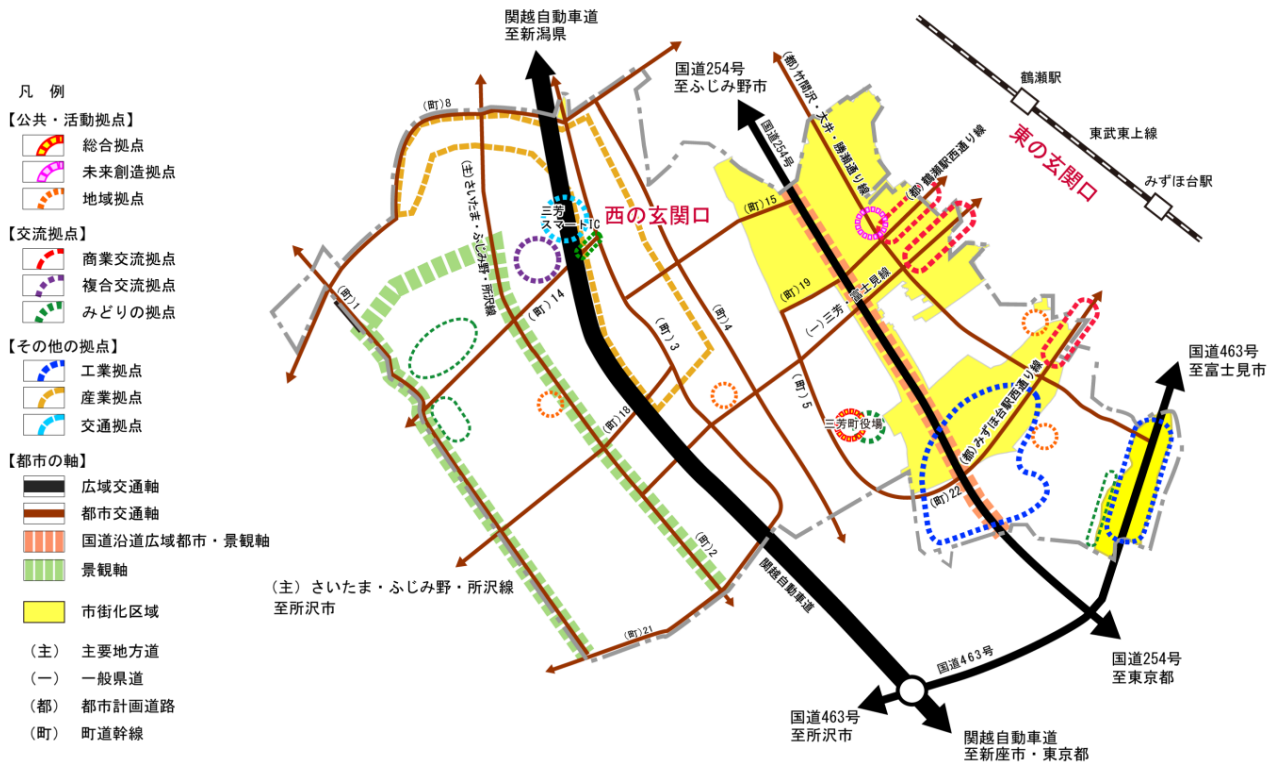
表4 町民アンケート調査項目（案）

調査項目	分析の視点
<p>◆日常の外出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別（通勤、通学、通院、買物等）の外出頻度、移動時間、移動手段、目的地 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動実態やニーズと現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせ、移動状況やニーズとのズレや問題点を把握し、改善策を検討。
<p>◆公共交通の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用有無、利用している公共交通、利用バス停・鉄道駅、利用時間帯、利用する理由、利用しない理由、公共交通による外出時の問題点等 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスレベルや料金などの不公平感がないかを確認し、見直しを検討。 ・公共交通の新規利用、既存利用者の利用促進に向けた事業項目の重要度や優先度を把握し、改善策を検討。 ・どのようなケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような代替が可能なのかを検討。
<p>◆利用していない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録しているものの、利用していない理由 	<ul style="list-style-type: none"> ・何がネックとなり、利用していないのか、問題点や改善内容を検討。
<p>◆公共交通の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗継、車両、バス停、情報提供等 ・公共交通ネットワークの改善点 <p>◆今後の公共交通施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許保有状況、自家用車両の運転 ・今後の取組みに向けて重視すべき点 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に対する意識を把握し、地域が求めている地域公共交通を検討。 ・地域主体における移動サービスに対するニーズや担い手確保の検討。

【参考】地域別人口の推移

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	増減率 (平成30年- 令和4年)
上富地域	人口	3,283	3,227	3,155	3,137	3,094	-5.8%
	世帯数	1,447	1,448	1,441	1,451	1,457	0.7%
	1世帯当たり人口	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	-6.4%
北永井地域	人口	6,782	6,692	6,616	6,535	6,488	-4.3%
	世帯数	2,852	2,854	2,850	2,849	2,867	0.5%
	1世帯当たり人口	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	-4.8%
藤久保地域	人口	22,178	22,205	22,321	22,309	22,219	0.2%
	世帯数	9,483	9,579	9,717	9,796	9,875	4.1%
	1世帯当たり人口	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-3.8%
竹間沢地域	人口	4,217	4,156	4,121	4,079	4,086	-3.1%
	世帯数	1,713	1,705	1,721	1,714	1,736	1.3%
	1世帯当たり人口	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	-4.4%
みよし台 地域	人口	1,864	1,911	1,922	1,882	1,851	-0.7%
	世帯数	906	953	964	961	955	5.4%
	1世帯当たり人口	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	-5.8%

【参考】将来都市構造図（都市計画マスタープランより引用）



(2) 調査票の作成上の留意点

高齢者が回答する場合を考慮し、調査票の作成に当たっては以下の点に留意する。

表5 調査票作成上の留意点

フォントサイズ	○文字の判別のしやすさを考慮し、フォントサイズは原則として11ポイント以上とする。
フォント	○上記と同様、文字の判別のしやすさを考慮し、ゴシック系のフォントを基本とする。
配色	○配色は白地に黒文字とし、白抜き文字などは極力使用しない。 ○なお、紙質については光沢の強いものは避ける。
文章	○主語・述語等の関係が分かりにくくなる長文は避け、できるだけ短く簡潔な文章とする。
設問構成	○条件付き付問(①と回答した方は問5へ、②と回答した方は問6へ、など)は極力避け、できるだけシンプルな設問構成とする。条件付き付問を設定する場合、矢印などにより次の設問に分かりやすく誘導する工夫を行う。
レイアウト	○特に設問内容が大きく変わる箇所に十分に余白を設ける、必要に応じて簡単なイラストを配置する等、分かりやすく回答意欲を損なわないレイアウトを行う。
その他	○「地域公共交通計画」「地域間幹線軸」「地域内交通」などの専門的な用語は回答者の混乱・誤解を招く可能性があるため、原則として使用しない。

(3) 挨拶・協力依頼文の作成

市民アンケート調査の表紙に記載する挨拶・協力依頼文の記載内容について検討し、挨拶・協力依頼文を作成する。

表6 挨拶・協力依頼文の作成

概要	備考
<ul style="list-style-type: none"> ○調査実施の背景や目的を記載し、調査への協力を依頼 ○対象者選定方法や回答上の留意点、個人情報の取り扱い、回収方法・投函締め切りを記載 ○問い合わせ先を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ※背景・目的や協力依頼の文章はできるだけ簡潔なものとする。 ※宛名の本人が回答することを原則とする。

(4) 調査票の検討

※別途作成

1-2 事業者ヒアリング調査

1-2-1 調査概要

交通事業者については、利用者数、運賃収入等の基礎データを入手するとともに、定期的に再編後の公共交通についての協議を行う。

その他のヒアリングについては、公共交通利用者や施設来訪者の状況、事業者や関係分野からみた現在の公共交通の問題点や要望、公共交通の再編、公共交通との連携方策に関する考えなどを把握する。

表1 交通事業者ヒアリング概要

調査概要		
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者（ライフバス） ・タクシー事業者（三和タクシー・みのり交通） 	
調査方法	交通事業者を訪問し、直接聞き取り	
調査時期	10月見込み ※対象者の状況により臨機応変に調整	
調査内容	【調査項目】	【調査により明らかにすること】
	<ul style="list-style-type: none"> ◆現状の運行状況と問題点 ・運行ルート、運行人員、運行車両数 ・運行の問題点 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者が抱える現状の問題点から、サービスレベルの維持・向上に向けた事業者の体力を把握。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の再編 ・運行ルートや運行ダイヤの再編案 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編による効果、再編の実現性などを把握
	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな取組・サービスに対する意識 ・公共交通の新たな施策に対する考え 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな施策の実現性、担い手としての見込みなどを把握

表2 集客施設ヒアリング概要

調査概要	
調査対象（候補）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設（埼玉セントラル病院、イムス三芳総合病院、三芳の森病院、三芳野病院、ふじみの救急病院） ・商業施設（カスミ三芳店）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に対するニーズ（方面、時間帯、割引サービス等） ・施設来訪者の状況、送迎サービスの実施状況、タイアップ企画の可能性

表3 町内関係各課ヒアリング概要

調査概要	
調査対象（候補）	<ul style="list-style-type: none"> <福祉> 社会福祉協議会、民生委員 <商業・観光> 観光産業課 <企業> 工業団地、教習所等（送迎状況に応じて抽出）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスなどの運行状況、現在の取組内容、取組内容を進めるにあたり公共交通に求めること ・公共交通との連携方策、新たな取組の可能性 等

※その他必要に応じて、対象事業者の追加や、実施済み事業者への追加ヒアリング等も実施を検討する。

表7 調査実施の役割分担（案）

項目	委託者	受託者
調査の準備	<ul style="list-style-type: none"> 対象団体の抽出 対象団体の調査依頼 日程調整 ヒアリングシートの送付 	<ul style="list-style-type: none"> 調査計画・ヒアリングシートの作成
調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 対象団体への聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> 対象団体への聞き取り
調査とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果のとりまとめ

1-2-2 ヒアリングシートの作成

(1) 調査項目の整理

表8 調査項目（交通事業者）

調査項目	分析の視点
<ul style="list-style-type: none"> ◆現状の運行状況と問題点 <ul style="list-style-type: none"> 運行ルート、運行人員、運行車両数 運行の問題点 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が抱える現状の問題点から、サービスレベルの維持・向上に向けた事業者の体力を把握。
<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の再編 <ul style="list-style-type: none"> 運行ルートや運行ダイヤの再編案 	<ul style="list-style-type: none"> 再編による効果、再編の実現性などを把握
<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな取組・サービスに対する意識 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の新たな施策に対する考え 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな施策の実現性、担い手としての見込みなどを把握

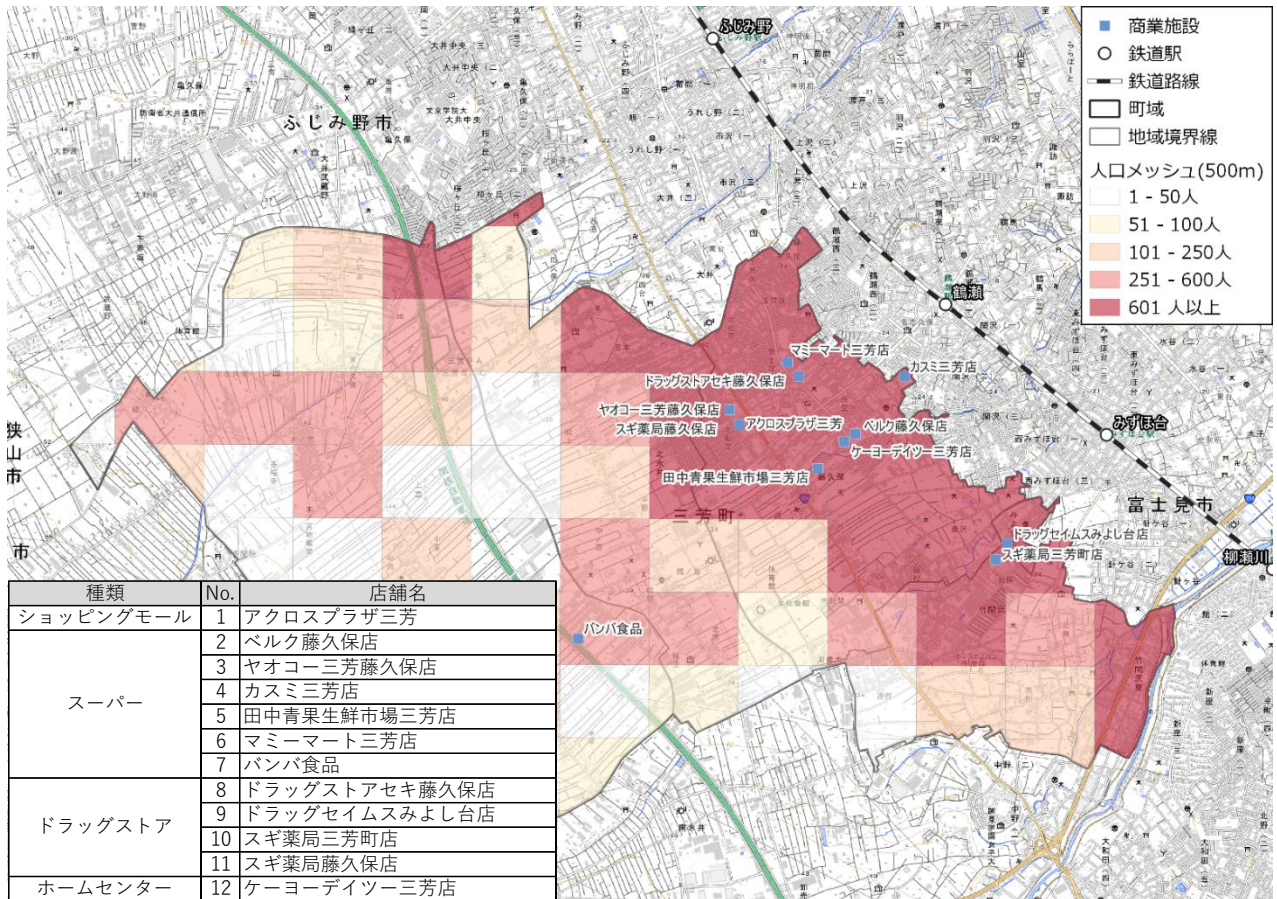
表9 調査項目（関係団体）

調査項目	分析の視点
<ul style="list-style-type: none"> 町民あるいは町外からの来訪者における、町内施設等の利用状況や傾向等の把握 送迎サービスなどの運行状況、現在の取組内容、取組内容を進めるにあたり公共交通に求めること（送迎輸送を実施している団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者視点からの施設利用・公共交通利用に係る状況や傾向の把握 送迎サービス等、公共交通以外で運行されている交通サービスの実態の把握
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりや公共交通の魅力向上に向けて必要な取組 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者目線・あるいは町民目線から感じる公共交通施策への要望の把握
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通との連携方策 新たな取組の可能性 等 	<ul style="list-style-type: none"> 利用促進策等における、実施事業での公共交通施策との連携の実現性

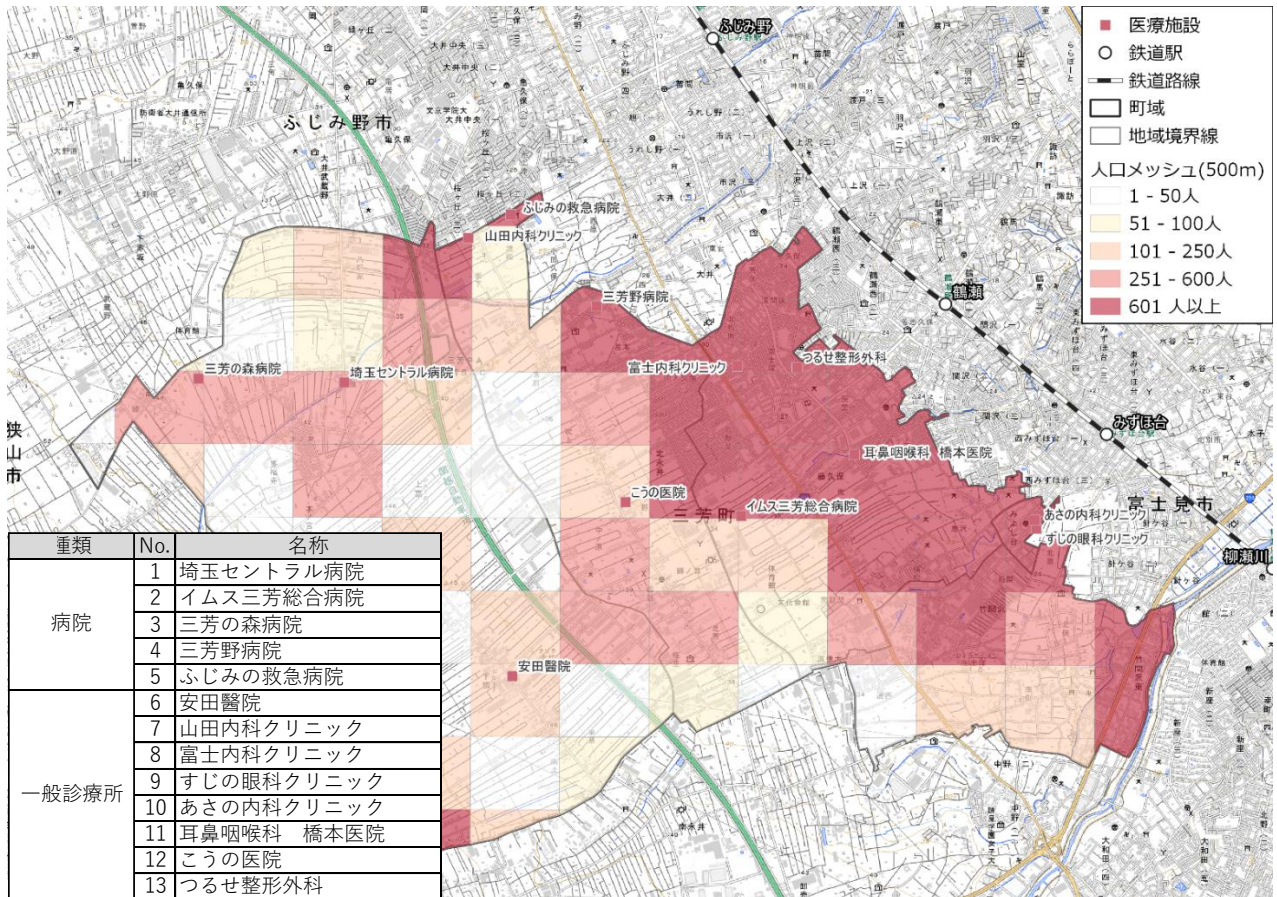
(2) ヒアリングシートの作成

※別途作成

【参考】 町内の主な商業施設



【参考】 町内の主な医療施設



第2号議案

町民アンケート調査項目について

町民アンケート調査の各項目について、別紙のとおり決定するものとする。

【三芳町】 日常の外出や公共交通に関する住民アンケート

日頃から町政運営に対しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

三芳町では現在、路線バス・タクシー等を中心とした公共交通ネットワークを形成しております。

一方、全国的に人口減少及び少子高齢化が進行しており、本町においても、経年的な高齢人口の増加に伴い、高齢者が自家用車を利用できなくなった際の、日常生活の移動手段の確保などが重要な課題となっております。

このような社会情勢の中、今後も持続的かつ安定的にサービスの提供ができるよう、地域の公共交通のあり方を検討するため、令和5年度から令和6年度にかけて、「三芳町地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

計画の検討を進める上で、皆様の外出(買い物、通院、通勤・通学、その他)の実態や公共交通の利用状況を把握することが重要であるため、この度、住民アンケート調査を実施することになりました。

お忙しい中、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨・目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年10月 三芳町地域公共交通協議会

～～ご記入にあたって～～

1. このアンケート用紙は、15歳以上の町民の中から無作為に選ばれた2,000名の方にお送りしています。
2. この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ご本人による記入が困難な場合は、ご家族の方等がご本人の考え等を聞いて、代理で記入してください。
3. ご回答いただきました内容は、統計的な分析にのみ使用し、それ以外の目的に使用することは決してありません。また、お名前をご記入いただく必要もありませんので、回答者が特定されることもありません。
4. 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れていただき、**令和5年*月*日(*)**までに郵便ポストに投函してください。
5. オンラインでの回答をご希望の方は、スマートフォンで右記のQRコードを読み取るか、下記のURLからアンケートにアクセスしてください。

URL: https://forms.office.com/* * * * * * * * *

※ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

QR
コード

【調査事業者】株式会社ケー・シー・エス 03-6240-0597

【事務局】三芳町地域公共交通協議会事務局(政策推進室 政策推進担当)049-258-0019

1. あなたご自身についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問1-1 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |

問1-2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|---------|
| 1. 藤久保地域 | 2. みよし台地域 | 3. 竹間沢地域 | 4. 北永井地域 | 5. 上富地域 |
|----------|-----------|----------|----------|---------|

問1-3 あなたの就業・就学の状況を教えてください。

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 自営業 | 3. パート・アルバイト |
| 4. 専業主婦(夫) | 5. 農業 | 6. 無職 |
| 7. 高校生 | 8. 大学・短大・専門学校生 | 9. その他() |

問1-4 普段の生活におけるあなたの車両(自動車・バイク・原付等)利用について教えてください。(最も近いもの一つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自分専用の車両を持っている |
| 2. 家族と共用の車両を持っている |
| 3. 自分が運転できる車両はないが、家族の送迎がある |
| 4. 自分が運転できる車両はなく、家族の送迎もない |

問1-5 あなたがお住まいの世帯の、自家用車両の所有台数を教えてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| ① 自動車: _____台 | ② バイク: _____台 | ③ 原付バイク: _____台 |
|---------------|---------------|-----------------|

問1-6 普段の日常生活における、スマートフォンやタブレット端末の利用状況について教えてください。(最も近いもの一つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 使用するアプリは自分で追加し、活用している |
| 2. アプリの追加や使い方などは、家族や友人の補助を受けている |
| 3. 電話・メールのやり取りでのみ使用している |
| 4. スマートフォン、タブレット端末を持っていない |

問1-7 普段の日常生活における、キャッシュレス決済サービスの利用について教えてください。

① 所有状況	1. 持っている	2. 持っていない⇒問2-1へ			
② 利用頻度	1. ほぼ毎日	2. 月に数回程度	3. 年に数回程度	4. 年1回以下	
③ 最もよく利用するサービス(あてはまるものすべてに○)	1. 交通系ICカード	2. QRコード決済(QUICK RIDE含む)	3. クレジットカード	4. その他の電子マネー(WAON、nanaco等)	5. その他()
④ 上記のサービスでの公共交通利用の有無	1. 利用する	2. 利用しない			

2. あなたの普段の外出についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問2-1 日常生活での外出・移動について、目的別にお伺いします。あなたの普段の活動に最も近いものを教えてください。

(1) 日常の買い物について

① 日常の買い物の頻度はどのぐらいですか。

1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
4. 月に数回	5. 月に1回程度	6. 年に数回以下

② 日常の買い物で、最もよく利用する施設について教えてください。

②-1 施設の場所(一つに○)	1. 藤久保地域	2. みよし台地域	3. 竹間沢地域
	4. 北永井地域	5. 上富地域	6. 町外 ⇒④△
②-2 施設店名	() 例:〇〇スーパー〇〇店		

③ 【町内施設を利用する場合】移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他()

④ (②で6を選択した方のみ回答)【町外施設を利用する場合】移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. 電車
9. その他()			

⑤ 外出する際のおおよその出発時刻と、帰宅する際の目的地のおおよその出発時刻を教えてください。(全く決まっていない場合は、「決まっていない」に○)

平日	行き:()時頃	帰り:()時頃	決まっていない
※おおよその時刻を24時間制でご記入ください(例:午後3時⇒15時)			
休日	行き:()時頃	帰り:()時頃	決まっていない
※おおよその時刻を24時間制でご記入ください(例:午後3時⇒15時)			

問2-2 日常の買い物について、店舗以外で購入できる商業サービスの利用頻度について、それぞれお答えください。

① ネットスーパーなどの宅配・宅食サービス	1. 定期的に利用している 2. 時々利用するが、店舗で買い物する方が頻度は高い 3. ほとんど/全く利用しない
② 町内で運行される移動スーパー	1. 定期的に利用している 2. 時々利用するが、店舗で買い物する方が頻度は高い 3. ほとんど/全く利用しない
③ 買い物代行サービス	1. 定期的に利用している 2. 時々利用するが、店舗で買い物する方が頻度は高い 3. ほとんど/全く利用しない

(2) 通勤・通学時の外出について-----

① 通勤・通学の頻度はどのくらいですか。

1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回	4. 月に数回
5. 月に1回程度	6. 年に数回以下	7. 通勤・通学はしていない⇒(3)へ	

② 通勤・通学先はどこですか。

1. 町内(居住地と同じ地域)	2. 町内(別の地域⇒)	3. 富士見市
4. ふじみ野市	5. 所沢市	6. 新座市
7. 志木市	8. 川越市	
9. その他県内の市町村(⇒ 市/町/村)	10. その他県外 (⇒ 県・都)	

③ 移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. 電車
9. その他()			

④ 外出する際のおおよその出発時刻と、帰宅する際の目的地のおおよその出発時刻を教えてください。(全く決まっていない場合は、「決まっていない」に○)

行き:()時頃	帰り:()時頃	決まっていない
※おおよその時刻を24時間制でご記入ください(例:午後3時⇒15時)		

(3) 通院時の外出について-----

① 通院の頻度はどのくらいですか。

1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回	4. 月に数回
5. 月に1回程度	6. 年に数回以下	7. 通院はしていない⇒次ページ(4)へ	

② 通院で、最もよく利用する施設について教えてください。

②-1 施設の場所 (一つに○)	1. 藤久保地域	2. みよし台地域	3. 竹間沢地域
	4. 北永井地域	5. 上富地域	6. 町外 ⇒④へ
②-2 病院名			

③ 【町内施設を利用する場合】移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他()

④ (②で6を選択した方のみ回答)【町外施設を利用する場合】移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. 電車
9. その他()			

⑤ 外出する際のおおよその出発時刻と、帰宅する際の目的地のおおよその出発時刻を教えてください。(全く決まっていない場合は、「決まっていない」に○)

行き:()時頃	帰り:()時頃	決まっていない
※おおよその時刻を24時間制でご記入ください(例:午後3時⇒15時)		

(4) その他(余暇)での外出について-----

(1)~(3)以外で最も多い外出についてお答えください。

① 外出頻度はどのぐらいですか。

1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
4. 月に数回	5. 月に1回程度	6. 月に1回未満

② 外出の目的はどのようなものが多いですか。(最も多いもの一つに○)

1. 外食(カフェなど軽食含む)	2. 日用品以外(衣類や家電製品等)の買い物
3. 役所や銀行・郵便局等での公的手続き	4. 医療施設・介護施設利用者への見舞い・訪問等
5. 友人・知人宅への訪問	6. 観光・行楽
7. 娯楽・趣味	8. 行政主催のイベント・行事等への参加
9. 地域(町内会等)主催のイベント・行事等への参加	10. その他()

③ ②で選んだ目的での外出で訪れる地域について当てはまるもの一つに○をつけて、施設名をお答えください。

1. 町内(居住地と同じ地域)	2. 町内(別の地域⇒)	3. 富士見市
4. ふじみ野市	5. 所沢市	6. 新座市
7. 志木市	8. 川越市	
9. その他県内の市町村(⇒ 市/町/村)	10. その他県外 (⇒ 県・都)	

④ 移動の際に、自宅または自宅最寄りの乗降場所から利用する交通機関を教えてください。(最もよく利用するもの一つに○)

1. 路線バス	2. タクシー	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(自分以外が運転)
5. バイク・原付	6. 自転車	7. 徒歩	8. 電車
9. その他()			

⑤ 外出する際のおおよその出発時刻と、帰宅する際の目的地のおおよその出発時刻を教えてください。(全く決まっていない場合は、「決まっていない」に○)

行き:()時頃	帰り:()時頃	決まっていない
※おおよその時刻を24時間制でご記入ください(例:午後3時⇒15時)		

3. あなたの公共交通等の利用についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問3-1 あなたは、町内で路線バスをどのぐらいの頻度で利用していますか。また、その際の利用状況について、教えてください。

(1) 路線バスの利用状況・頻度について

1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
4. 月に数回	5. 年に数回	6. 全く利用しない ⇒問3-2へ

(2) 最もよく利用する路線について(各系統のルート・経由地は、付属の案内をご参照ください)

1. ライフバス1系統 (鶴瀬駅~三芳・北永井循環)	2. ライフバス4系統 (鶴瀬駅~三芳中学校・西原住宅循環)
3. ライフバス5系統 (鶴瀬駅~三芳中学校~みずほ台駅)	4. ライフバス6A系統 (鶴瀬駅~上富~ふじみ野駅)
5. ライフバス6B系統 (鶴瀬駅~セントラル病院~ふじみ野駅)	6. ライフバス8系統 (鶴瀬駅~チェルシーガーデン~みずほ台駅)
7. 東武バス	8. 西武バス
9. その他()	10. わからない

(3) あなたが路線バスを利用する際の主な外出目的について

1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 通院
5. 娯楽・行楽	6. 公共施設利用	7. その他()	

(4) 最寄りの停留所について

① 自宅から最寄りのバス停までの時間	1. 5分以内	2. 6～10分程度	3. 11～15分程度	4. 16～20分程度	5. 20分以上
② 最寄りのバス停名	1. 知っている(停留所名: _____)			2. 知らない	

問3-2 あなたの鉄道の利用状況について、教えてください。

(1) 鉄道の利用頻度、利用する最寄り駅について(最も近いものに○)

1. 週5回以上	2. 週1回以上	3. 月1回以上	4. 全く利用しない⇒問4-1へ
【※1～3を選択した方】最もよく利用する最寄りの鉄道駅:(_____)			

(2) あなたが鉄道を利用する際の主な外出目的について

1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 通院
5. 娯楽・行楽	6. その他(_____)		

(3) あなたが自宅から最寄りの鉄道駅まで行く際の移動手段について(晴天時・雨天時それぞれについて、選択肢群の1～15の中から選んで、回答欄に数字を記入)

回答欄			
晴天時: _____ (その他の場合: _____)	雨天時: _____ (その他の場合: _____)		
※下記の選択肢群から番号を3つ選んで、順番に1つずつ記入 その他を選ぶ場合は、番号を記入の上、下記のカッコ内に内容を記入			
選択肢群			
1. 自家用車 (自分で運転)	2. 自家用車 (自分以外が運転)	3. バイク・原付	4. ライフバス1系統
5. ライフバス4系統	6. ライフバス5系統	7. ライフバス6A系統	8. ライフバス6B系統
9. ライフバス8系統	10. 東武バス	11. 西武バス	12. タクシー
13. 自転車	14. 徒歩	15. その他(晴天時・雨天時それぞれカッコ内に具体的に記入)	

4. 普段、路線バスを利用しない方にお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

※本項は、『問3-1(1)路線バスの利用状況・利用頻度について』で「4. 月に数回」～「6. 全く利用しない」と回答した人のお答えください。該当しない方は、問5-1へお進みください。

問4-1 あなたが路線バスを利用しない理由を教えてください。(上位3つを選択肢から選んで番号を記入)

回答欄		
1位: _____	2位: _____	3位: _____
※下記の選択肢群から番号を3つ選んで、順番に1つずつ記入 その他を選ぶ場合は、番号を記入の上、下記のカッコ内に内容を記入		
選択肢群		
1. 自家用車よりも時間がかかるから	2. バス停が近くにないから	
3. 運賃が高いから	4. 利用したい場所にアクセスしていないから	
5. どこをどのように運行しているのかわからないから	6. 1回の外出で複数の目的地を回るができないから	
7. 利用したい時間帯に運行していないから	8. 乗降時や車両内に段差があり、安全に移動できないから	
9. 密集・密接を避けるため、公共交通を利用したくないから		
10. 必要性を感じないから		

11. その他(具体的に: _____)

問4-2 あなたご自身が最寄りの公共交通を利用しやすくなるために、必要だと思う要素について教えてください。(上位3つを選択肢から選んで番号を記入)

回答欄		
1 位: _____	2 位: _____	3 位: _____
※下記の選択肢群から番号を3つ選んで、順番に1つずつ記入 その他を選ぶ場合は、番号を記入の上、下記のカッコ内に内容を記入		
選択肢群		
1. 運行本数の増加 2. 運行時間帯の拡大 3. 運賃の値下げ 4. 交通系ICカードやキャッシュレス決済サービスの導入 5. 時刻表や路線図、最寄りバス停留所などが分かる案内の配布 6. バス停で快適に待つことができる待合環境の整備 7. 商業施設、文化施設等と連携した企画乗車券(施設を利用すると公共交通の運賃を割引) 8. バスの位置情報や、それに基づくバス停での待ち時間など、運行に関する情報発信(バスロケーションシステム) 9. 乗り降りしやすい車両の導入 10. 運転手等の接客サービスの向上 11. その他 (_____)		

5. 公共交通等に対する意向やあり方をお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問5-1 本町の路線バスについて、あなたの満足度をそれぞれ教えてください。

① 運行本数	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
② 運行時間帯(朝)	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
③ 運行時間帯(日中)	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
④ 運行時間帯(夜)	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑤ 運賃	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑥ 運行区間	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑦ 運行経路	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑧ 車内の環境	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑨ 鉄道との乗り継ぎ	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑩ 運行情報の提供	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)
⑪ 総合的な満足度	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満	6. 分からない(知らない)

問5-2 本町の路線バスで改善すべき点について、問5-1の満足度のうち、「4. やや不満」「5. 不満」と回答した項目のうち、最大3つまで選んで、具体的な改善点について教えてください。

項目(問5-1の①~⑪より選択)	改善すべき点
(回答例) ③	いつも〇〇医院に行くために利用したいと思っているが、診察が 終わる頃(11時台)の便がないので、自家用車を使っている。

問5-3 あなたは運転免許をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 普通自動車以上	2. 自動2輪	3. 原付	4. 返納済み	5. 持ったことがない
------------	---------	-------	---------	-------------

問5-4 運転免許をお持ちの方は、将来、免許返納を考えていますか。

1. 2~3年以内に返納する予定	2. 返納する予定だが、時期は未定
3. 返納したいが、移動に車が必要なので今はできない	4. 現在は返納を考えていない
5. 分からない	

問5-5 町内で運行する公共交通について、アクセスを充実させるべきだと思う施設をお答えください。(最も近いもの・重要と思うものに○を一つ)

1. みずほ台駅	2. 鶴瀬駅	3. ふじみ野駅	4. 新所沢駅・航空公園駅
5. 三芳町役場	6. 東所沢駅・新座駅	7. その他()	

問5-6 免許返納の促進に向けて、どのような施策が必要だと思いますか。最も必要と思うものを選んでください。

1. 自家用車に代わる公共交通機関の充実	2. 免許返納者を対象にした公共交通やタクシーの割引制度
3. 高齢者による自動車運転の危険性周知に係るPR	
4. その他()	

問5-7 今後の町の公共交通について、あなたが重要だと思う要素は何ですか。あなたのお考えを教えてください。なお、サービスの充実にあたっては、町の税金を活用して行うものと仮定します。(上位3つを選択肢から選んで番号を記入)

回答欄		
1位: _____	2位: _____	3位: _____
※下記の選択肢群から番号を3つ選んで、順番に1つずつ記入 その他を選ぶ場合は、番号を記入の上、下記のカッコ内に内容を記入		
選択肢群		
1. 日中の時間帯で、いつでも最低限の待ち時間なしで利用できること		
2. 朝早く(通勤ラッシュやそれ以前)、または夜間(18時以降など)も利用できること		
3. (P3~5でお答えいただいた外出など)町民の生活スタイルに見合った運行を図ること		
4. 定時性(時刻通りの運行)が確保されていること		
5. (自分の居住地域から)鉄道駅にアクセスできること		
6. (自分の居住地域から)様々な施設にアクセスできること		
7. 目的地まで乗り継ぎなしで直接移動できること		
8. ドア・ツー・ドア(自宅の玄関前から目的地のすぐ近くまで)で移動できること		
9. 交通系ICカード、キャッシュレス決済サービスなど、様々な支払方法が利用できること		
10. バス停留所など、乗降場所の待合環境が充実していること		
11. 路線バスの位置情報や接近情報、遅延情報のような、運行に関する情報が充実していること(バスロケーションシステム)		
12. その他()		

問5-8 本町における公共交通等について、何かご意見がありましたら、ご記入ください。(複数のご意見をいただける場合は、箇条書きにしてご記入ください)

※記入漏れのないようご確認いただき、月 日()までにご投函ください。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

第1章 公共交通を取り巻く現状と課題

1.1 地域の特性

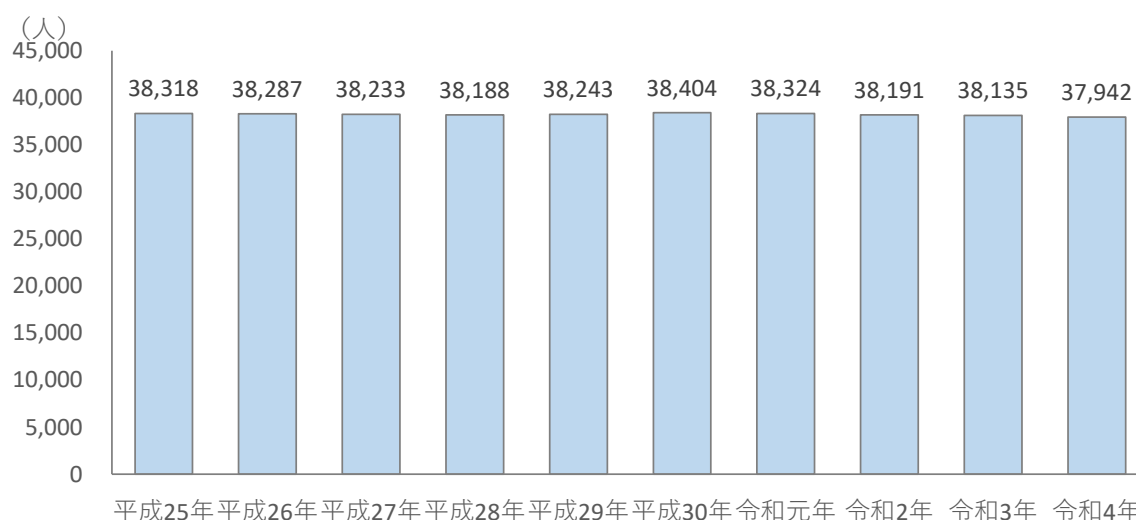
1.1.1 人口動態

(1) 人口推移

本町の人口は、令和4年1月1日現在で約38,000人となっています。5年前の平成29年に比べて、約300人減少しています。

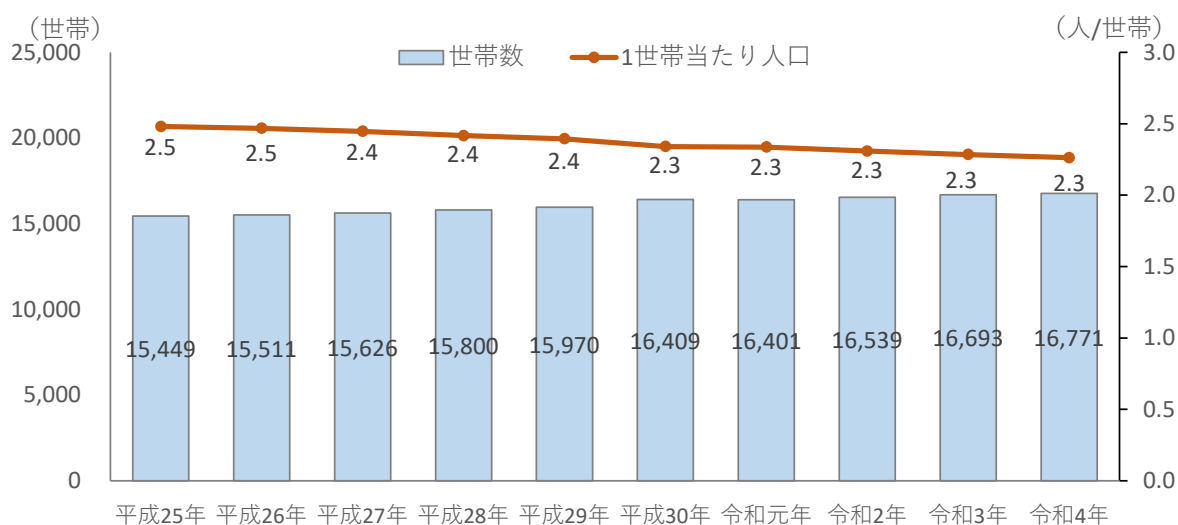
本町の世帯数は、令和4年1月1日現在で約16,800世帯となっています。5年前の平成29年に比べて、約800世帯増加しており、令和4年の1世帯あたり人口は2.3人となっています。

■人口の推移



資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

■世帯数及び1世帯あたり人口の推移



資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

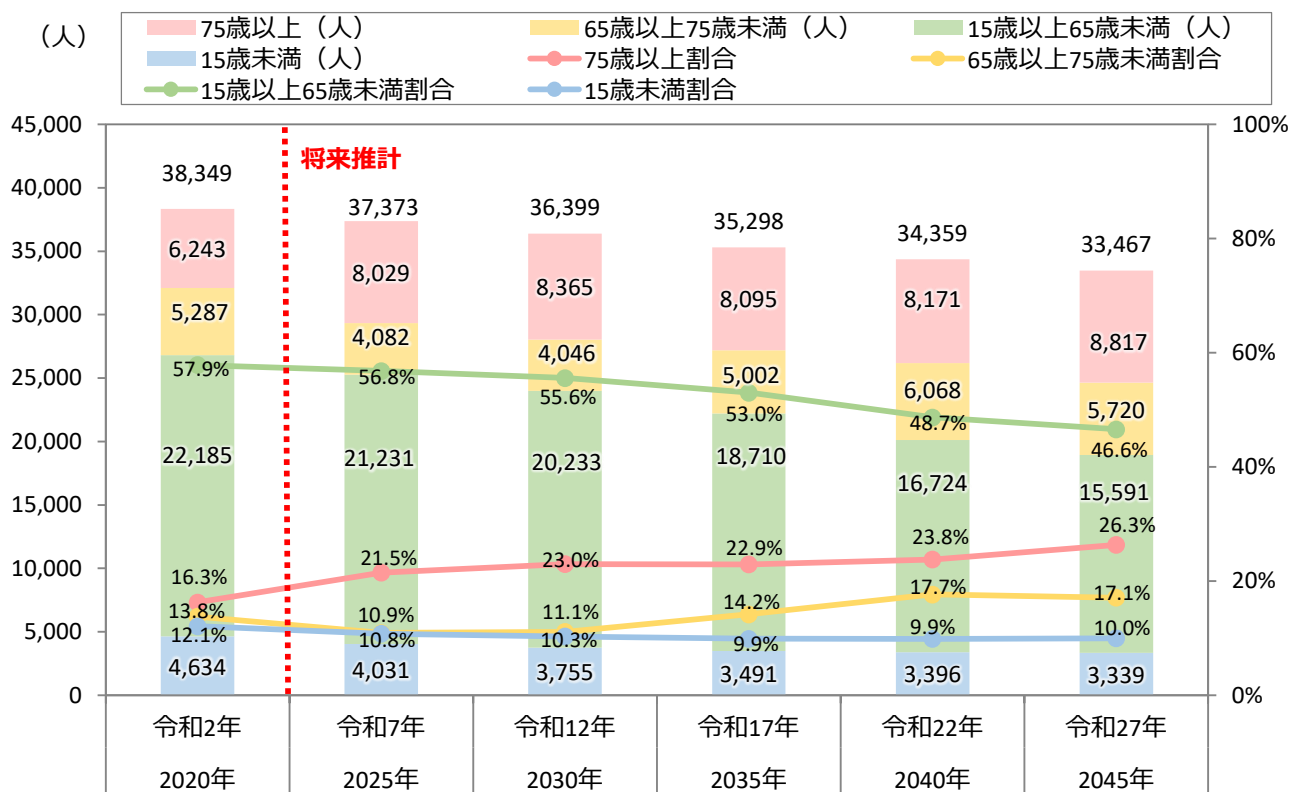
(2) 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本町の人口は、令和2年の約38,300人から令和27年には約33,500人にまで減少することが見込まれています。

15歳未満の年少人口割合は、令和2年の12.1%から令和27年の10.0%に減少、15歳以上65歳未満の生産年齢人口割合は、57.9%から46.6%にまで減少、65歳以上の老年人口割合は、30.1%から43.4%に増加する見込となっています。

■人口の推計（目標人口）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
15歳未満（人）	4,634	4,031	3,755	3,491	3,396	3,339
15歳以上65歳未満（人）	22,185	21,231	20,233	18,710	16,724	15,591
65歳以上（人）	11,530	12,111	12,411	13,097	14,239	14,537
65歳以上75歳未満（人）	5,287	4,082	4,046	5,002	6,068	5,720
75歳以上（人）	6,243	8,029	8,365	8,095	8,171	8,817
総人口（人）	38,349	37,373	36,399	35,298	34,359	33,467
15歳未満割合	12.1%	10.8%	10.3%	9.9%	9.9%	10.0%
15歳以上65歳未満割合	57.9%	56.8%	55.6%	53.0%	48.7%	46.6%
65歳以上割合	30.1%	32.4%	34.1%	37.1%	41.4%	43.4%
65歳以上75歳未満割合	13.8%	10.9%	11.1%	14.2%	17.7%	17.1%
75歳以上割合	16.3%	21.5%	23.0%	22.9%	23.8%	26.3%

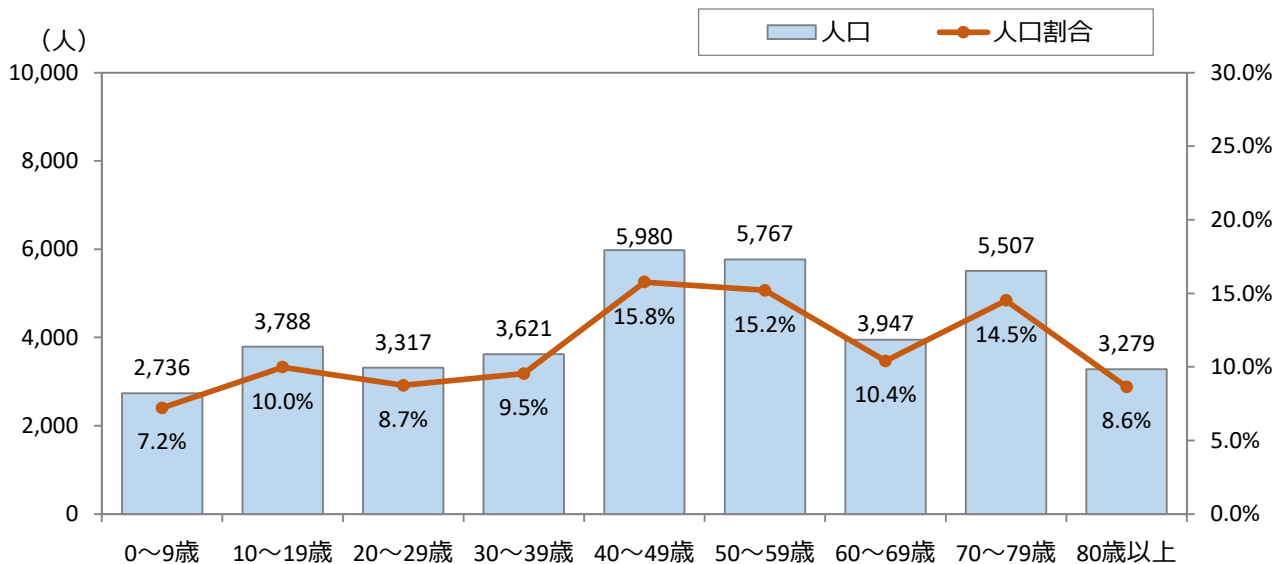


資料：令和2年国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所
 （各年10月1日現在）

(3) 年齢別人口

令和4年1月1日現在の年齢別人口を見ると40歳代が約6,000人、50歳代が約5,800人と多くなっています。60歳以上の人口は、全人口の33.5%となっています。

■年齢別人口



資料：住民基本台帳（令和4年1月1日現在）

(4) 地域別人口及び世帯数

令和4年月12月末現在の地域別人口を見ると、藤久保地域が約22,200人と最も多く、次いで、北永井地域が約6,500人となっています。

人口の増減率をみると、上富地域における減少が大きく、平成30年から令和4年にかけて約1割減少しています。その他の地域でも同様に減少しているが、減少率は5%前後となっています。

■地域別人口及び世帯数

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	増減率 (平成30年- 令和4年)
上富地域	人口	3,283	3,227	3,155	3,137	3,094	-5.8%
	世帯数	1,447	1,448	1,441	1,451	1,457	0.7%
	1世帯当たり人口	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	-6.4%
北永井地域	人口	6,782	6,692	6,616	6,535	6,488	-4.3%
	世帯数	2,852	2,854	2,850	2,849	2,867	0.5%
	1世帯当たり人口	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	-4.8%
藤久保地域	人口	22,178	22,205	22,321	22,309	22,219	0.2%
	世帯数	9,483	9,579	9,717	9,796	9,875	4.1%
	1世帯当たり人口	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-3.8%
竹間沢地域	人口	4,217	4,156	4,121	4,079	4,086	-3.1%
	世帯数	1,713	1,705	1,721	1,714	1,736	1.3%
	1世帯当たり人口	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	-4.4%
みよし台 地域	人口	1,864	1,911	1,922	1,882	1,851	-0.7%
	世帯数	906	953	964	961	955	5.4%
	1世帯当たり人口	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	-5.8%

資料：統計みよし（各年12月末現在）

1.1.2 人の動き

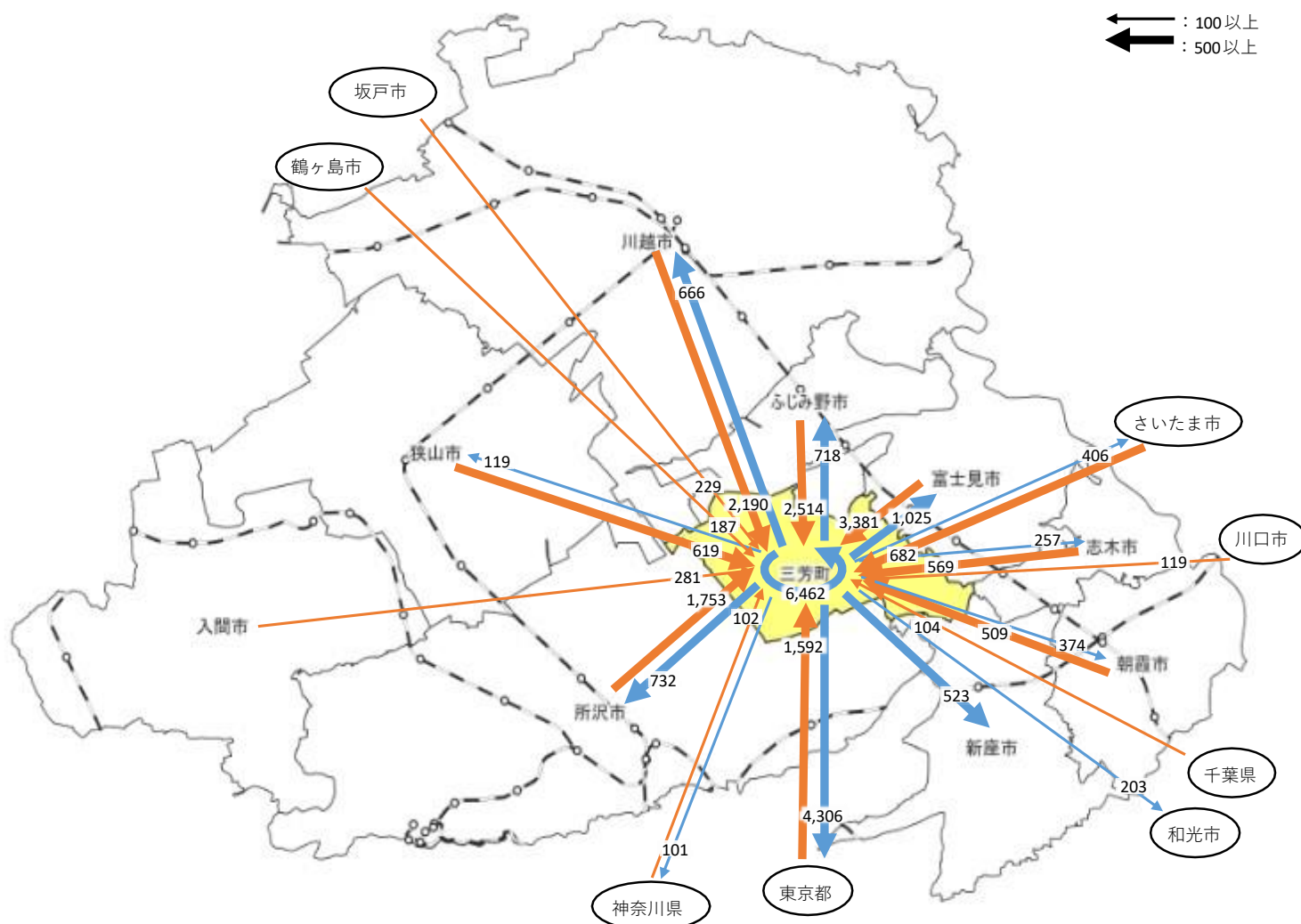
(1) 通勤目的の人の動き

町内に通勤している人が最も多く 6,462 人となっています。

町外への通勤をみると、富士見市 (1,025 人)、所沢市 (732 人)、ふじみ野市 (718 人)、川越市 (666 人)、新座市 (523 人) が多くなっています。

その他、東京方面へ通勤している人も多くみられます。

■通勤目的における人の動き



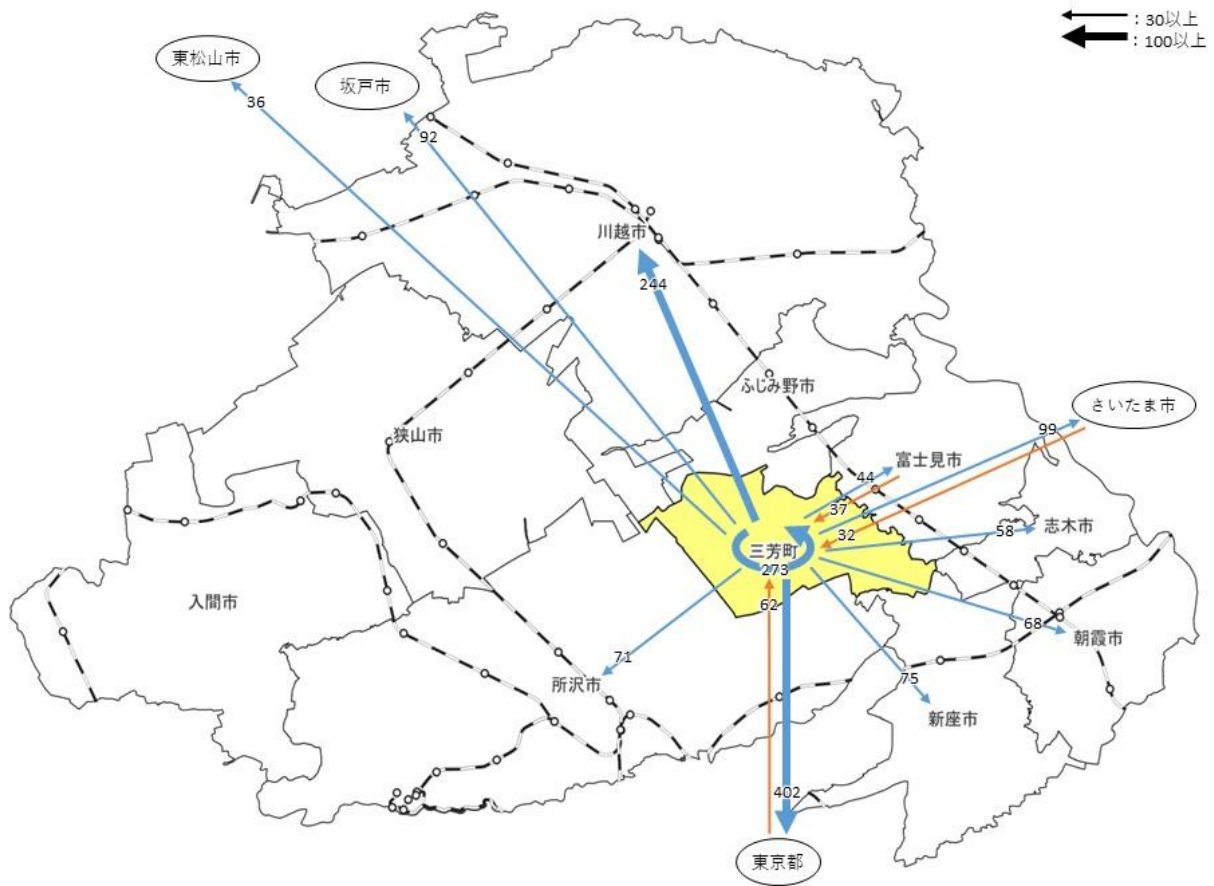
資料：国勢調査（令和2年）

(2) 通学目的の人の動き

東京都に通学している人が最も多く 402 人となっています。

町外への通学をみると、川越市 (244 人) さいたま市 (99 人) が多くなっています。

■通学目的における人の動き



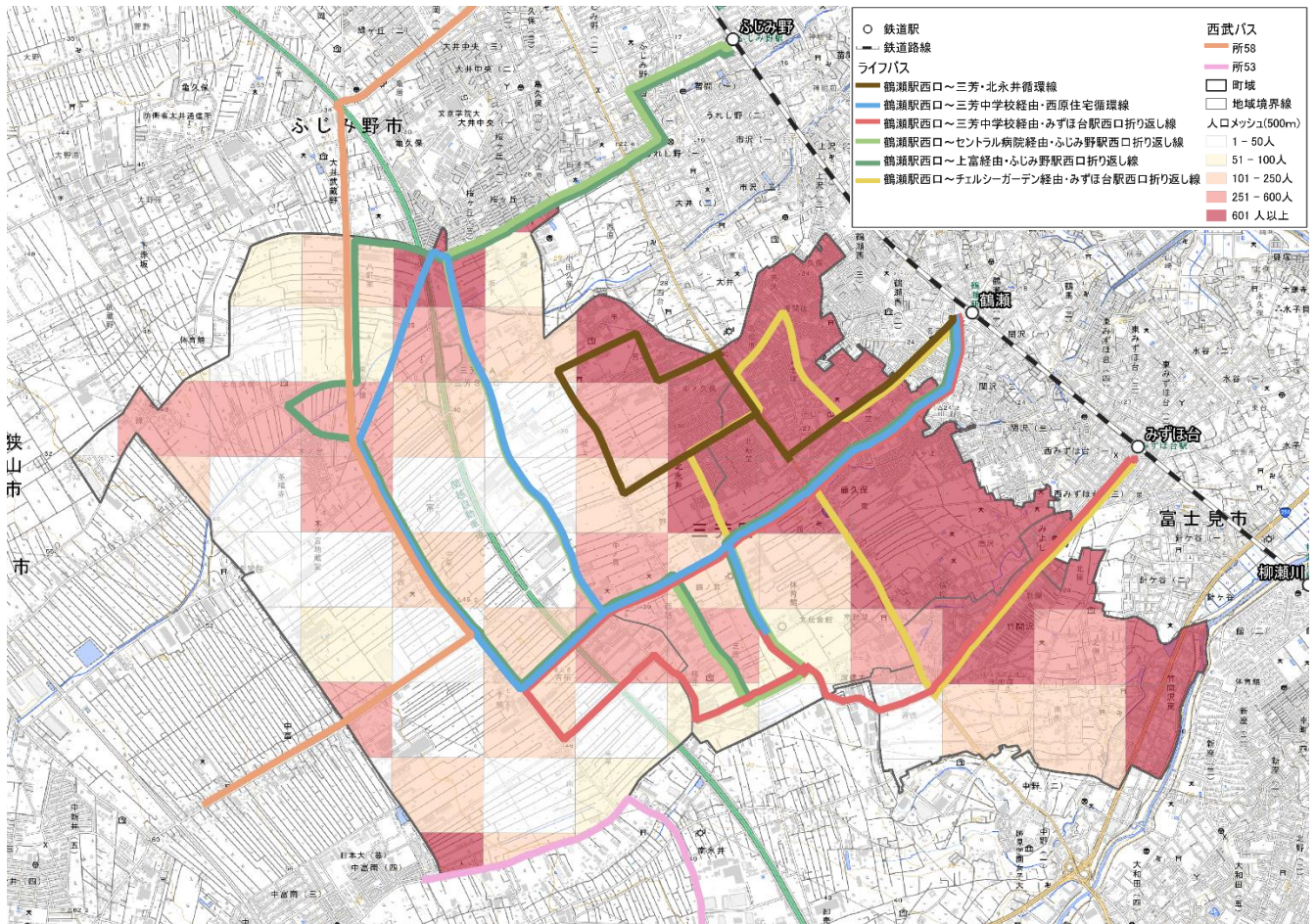
資料：国勢調査（令和2年）

1.1.3 人口分布と主要施設の立地状況

(1) 概観

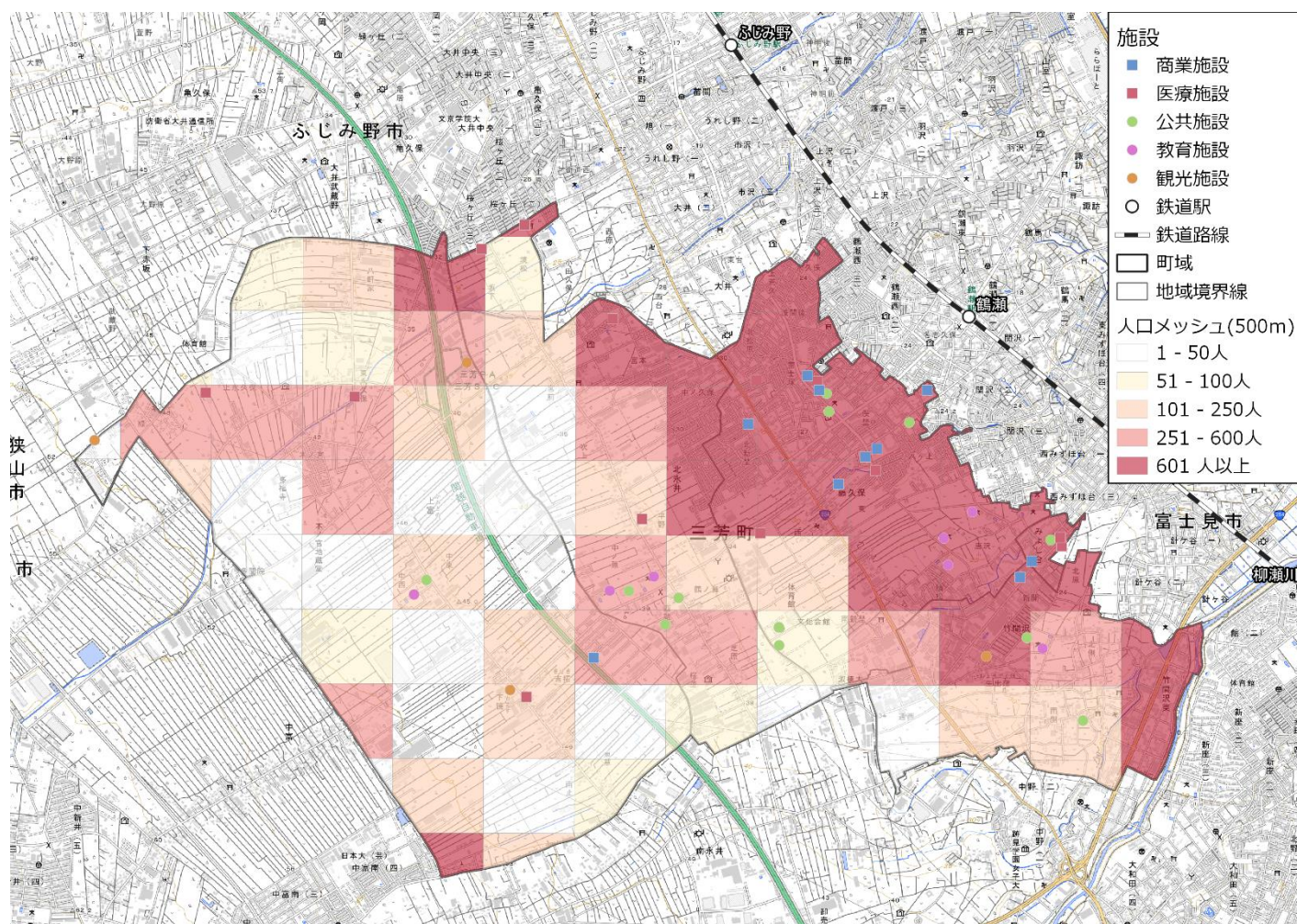
人口分布をみると、藤久保地域・みよし台地域・竹間沢地域といった、東武東上線沿線に比較的近いエリアに人口集積が多くみられます。

その他、所沢市境、上富地域北部のニュータウンや住宅密集地、三芳小学校周辺にも一定程度の人口集積がみられます。



■人口分布

主要施設の立地状況をみると、藤久保地域に施設の立地が特に多くなっています。

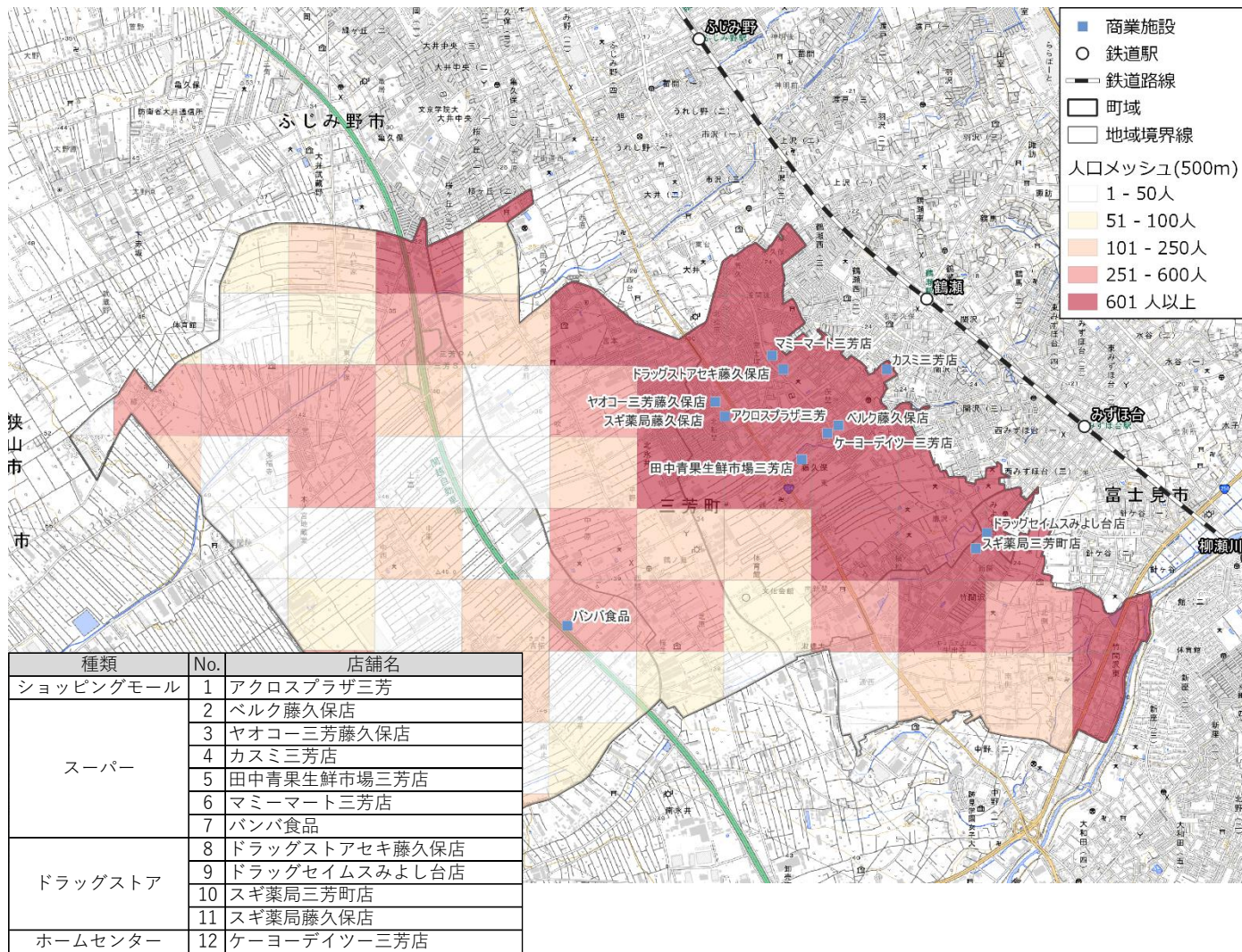


■施設等の立地状況

(2) 主な商業施設

商業施設は主に藤久保地域に立地しています。

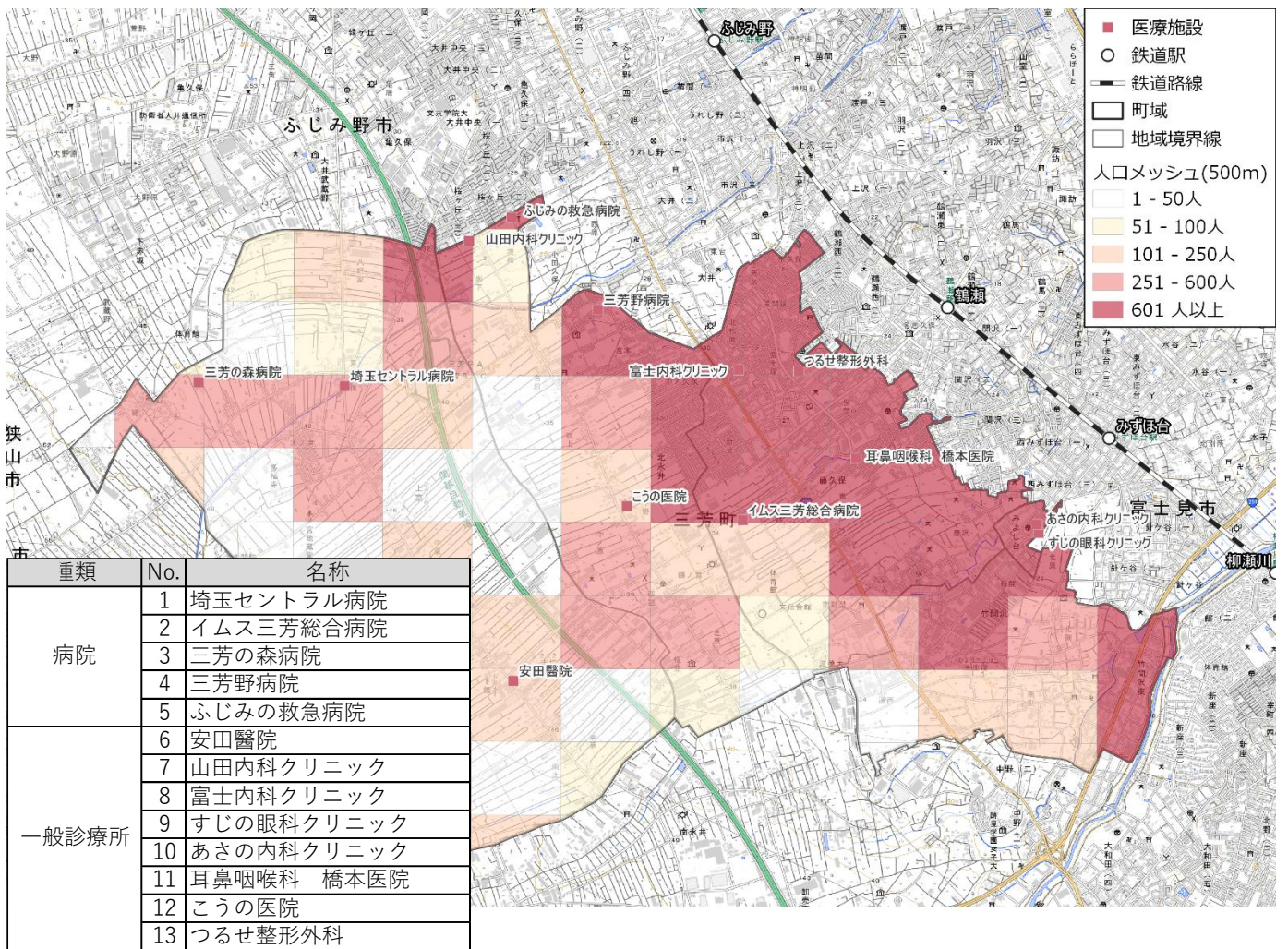
一方で、北永井地域や上富地域北部には立地が見られない状況となっています。



■商業施設の立地状況

(3) 主な医療施設

医療施設は各地域に立地していますが、竹間沢地域には立地が見られない状況となっています。

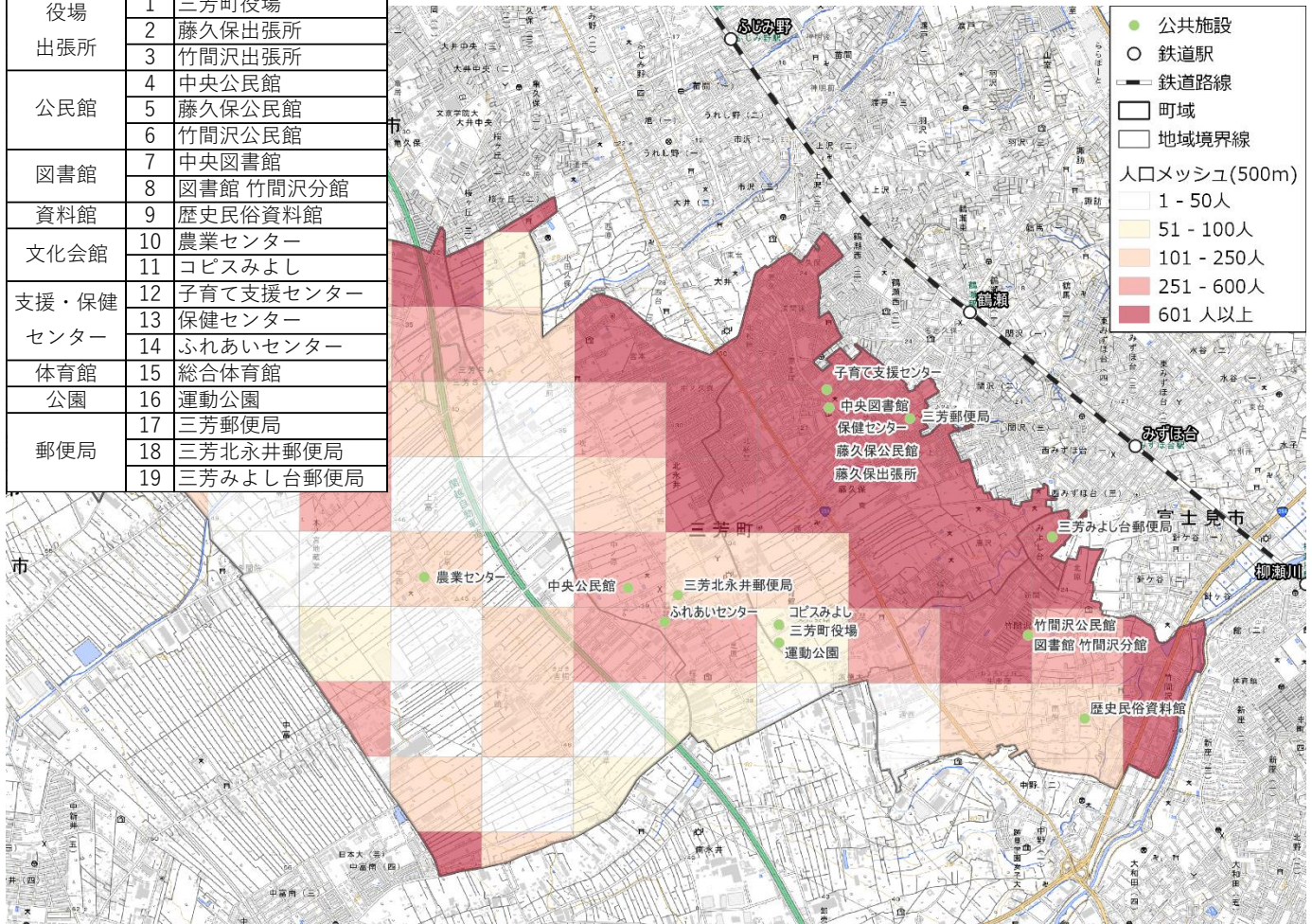


■ 医療施設の立地状況

(4) 主な公共施設

地区別に見ると、藤久保地域が最も多く立地しており、西部に行くにつれて少なくなる傾向にあります。

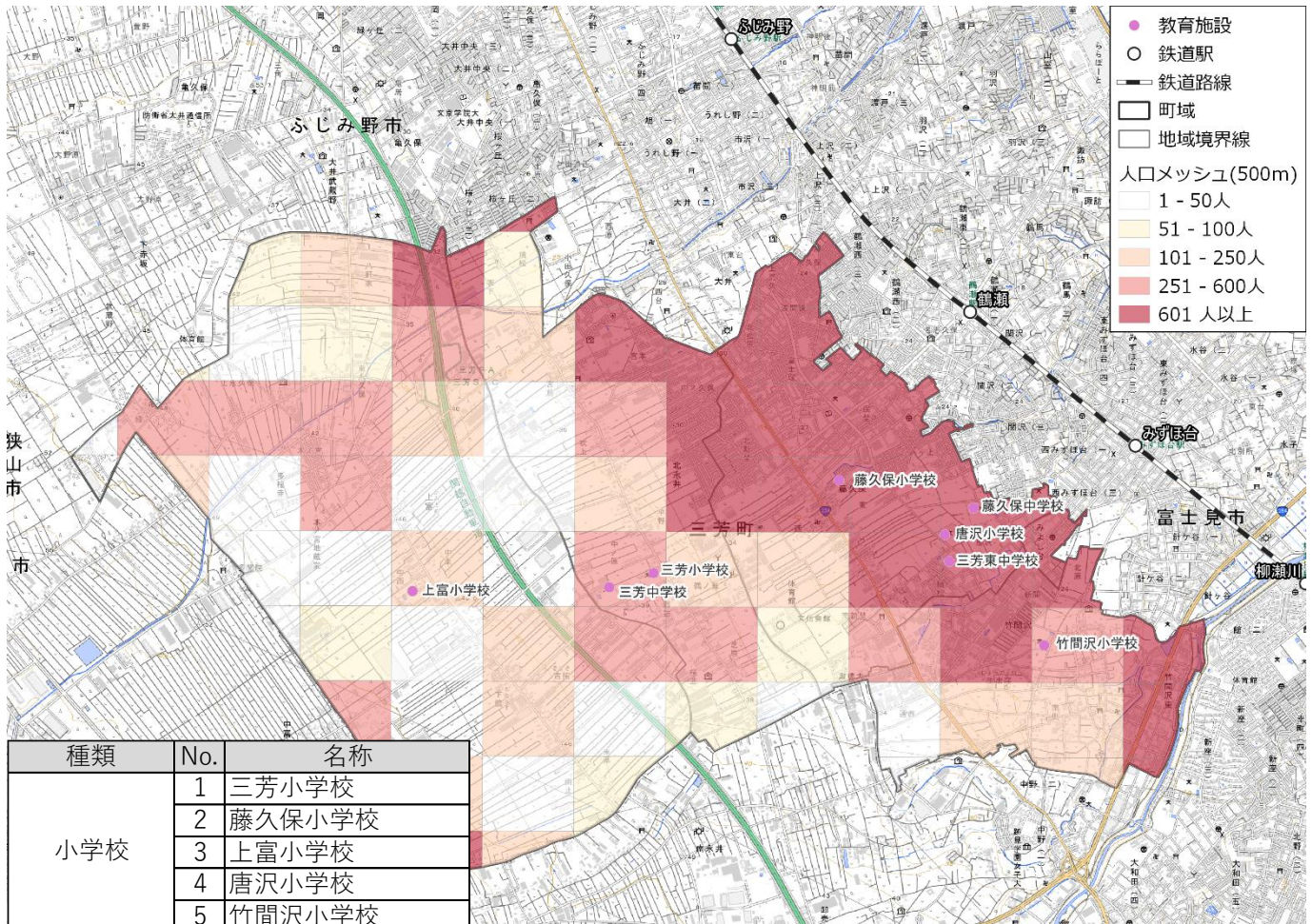
種類	No.	名称
役場 出張所	1	三芳町役場
	2	藤久保出張所
	3	竹間沢出張所
公民館	4	中央公民館
	5	藤久保公民館
図書館	6	竹間沢公民館
	7	中央図書館
資料館	8	図書館 竹間沢分館
	9	歴史民俗資料館
文化会館	10	農業センター
	11	コピスみよし
支援・保健 センター	12	子育て支援センター
	13	保健センター
	14	ふれあいセンター
体育館	15	総合体育館
公園	16	運動公園
郵便局	17	三芳郵便局
	18	三芳北永井郵便局
	19	三芳みよし台郵便局



■ 公共施設の立地状況

(5) 主な教育施設

藤久保地域をはじめとした町東部に多く立地しており、西に向かうにつれて少なくなる傾向が見られます。

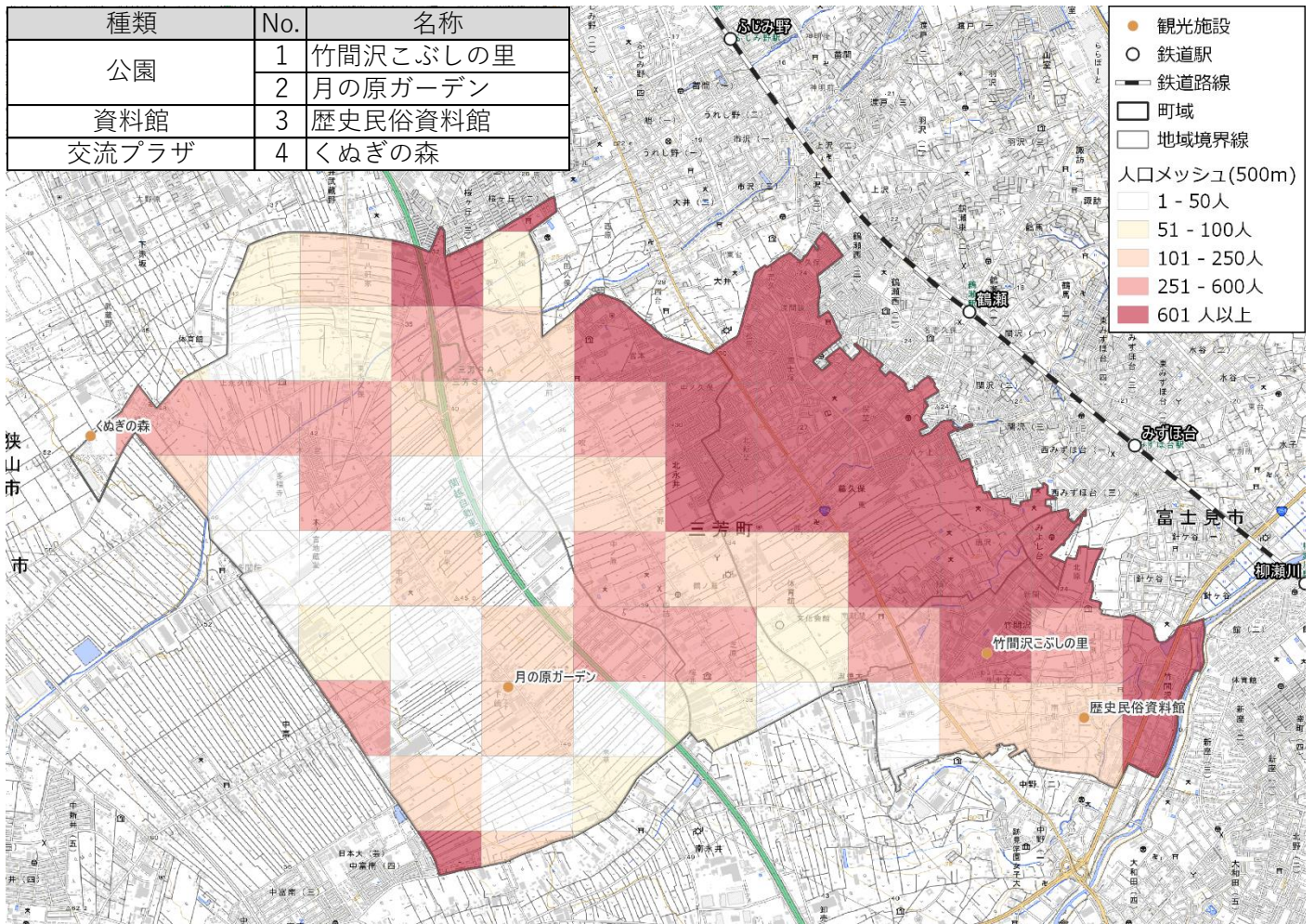


種類	No.	名称
小学校	1	三芳小学校
	2	藤久保小学校
	3	上富小学校
	4	唐沢小学校
	5	竹間沢小学校
中学校	6	三芳中学校
	7	三芳東中学校
	8	藤久保中学校

■教育施設の立地状況

(6) 主な観光施設

北永井地域、藤久保地域には、立地が見られない状況となっています。



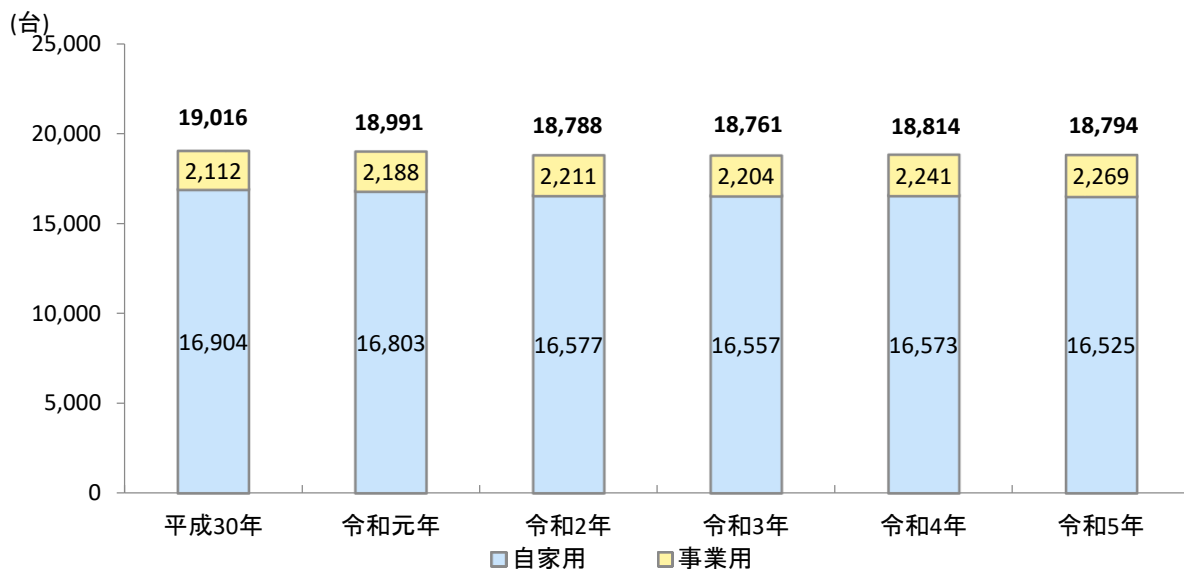
■ 観光施設の立地状況

1.1.4 自動車保有状況

自家用車の保有台数は、令和5年3月末現在で約16,500台となっています。5年前の平成30年に比べて、約380台減少しています。

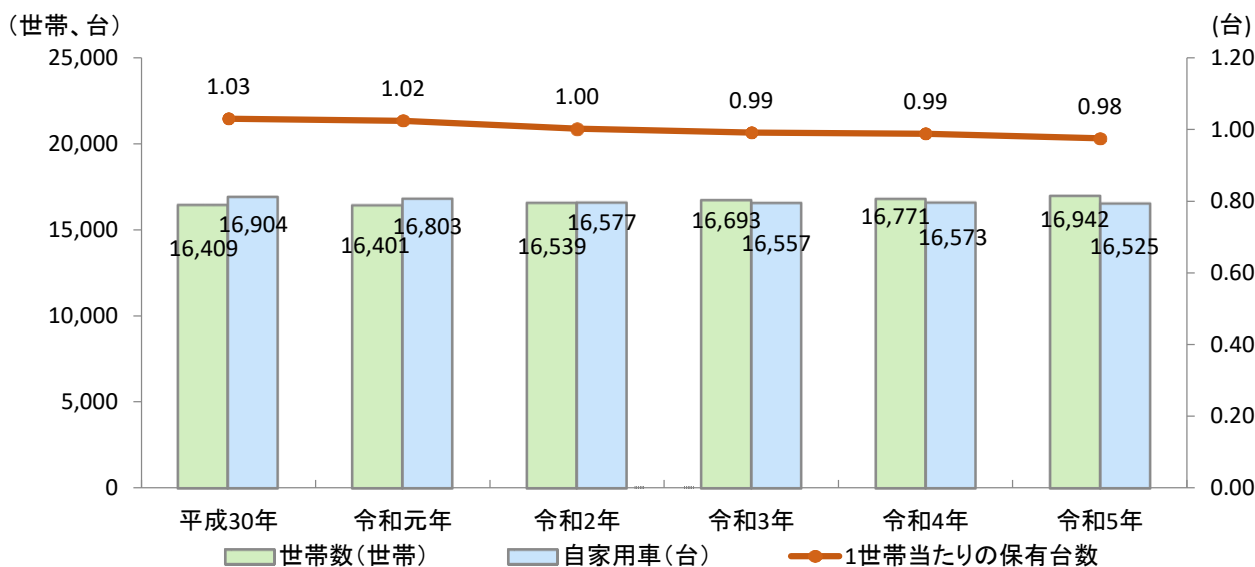
1世帯当たりの自家用車保有台数は、世帯数の増加に応じて経年的な減少が見られ、令和5年3月末現在で約1.0台となっています。

■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報
各年3月末現在

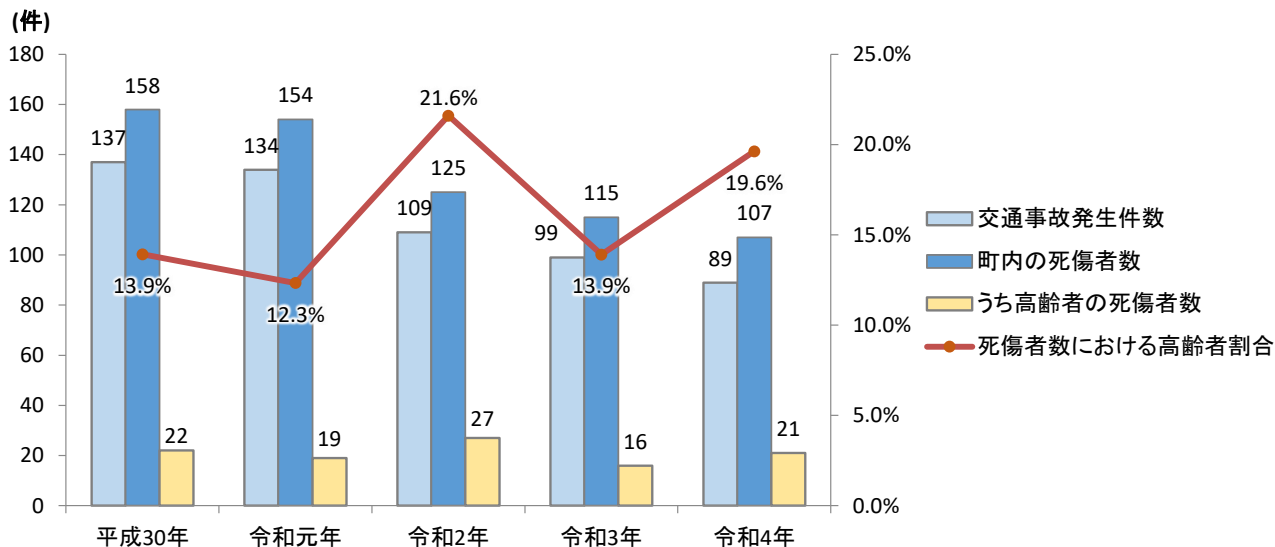
■1世帯当たりの自家用車保有台数の推移



資料：関東運輸局統計情報
各年3月末現在

1.1.5 高齢者の事故件数

町内の交通事故について、令和4年における全死傷者数のうち、65歳以上の高齢者の割合は19.6%となっており、全体の事故件数が減少しているにも関わらず上昇している。

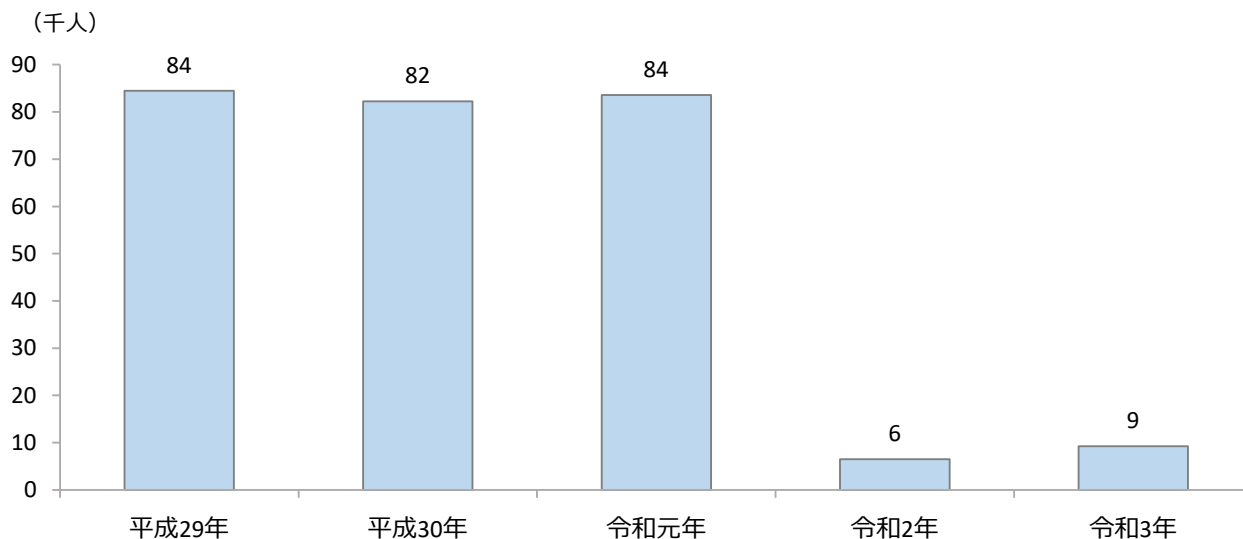


資料：警察署・三芳町

1.1.6 観光来訪者

観光入込客数は、令和3年時点では、約9千人となっています。コロナウイルス流行前の令和元年と比べ、約7万人減少しています。

■三芳町の観光入込客数の推移



資料：埼玉県観光入込調査報告書
各年12月末現在

■施設別観光入込客数



資料：

1.2 地域公共交通の現状

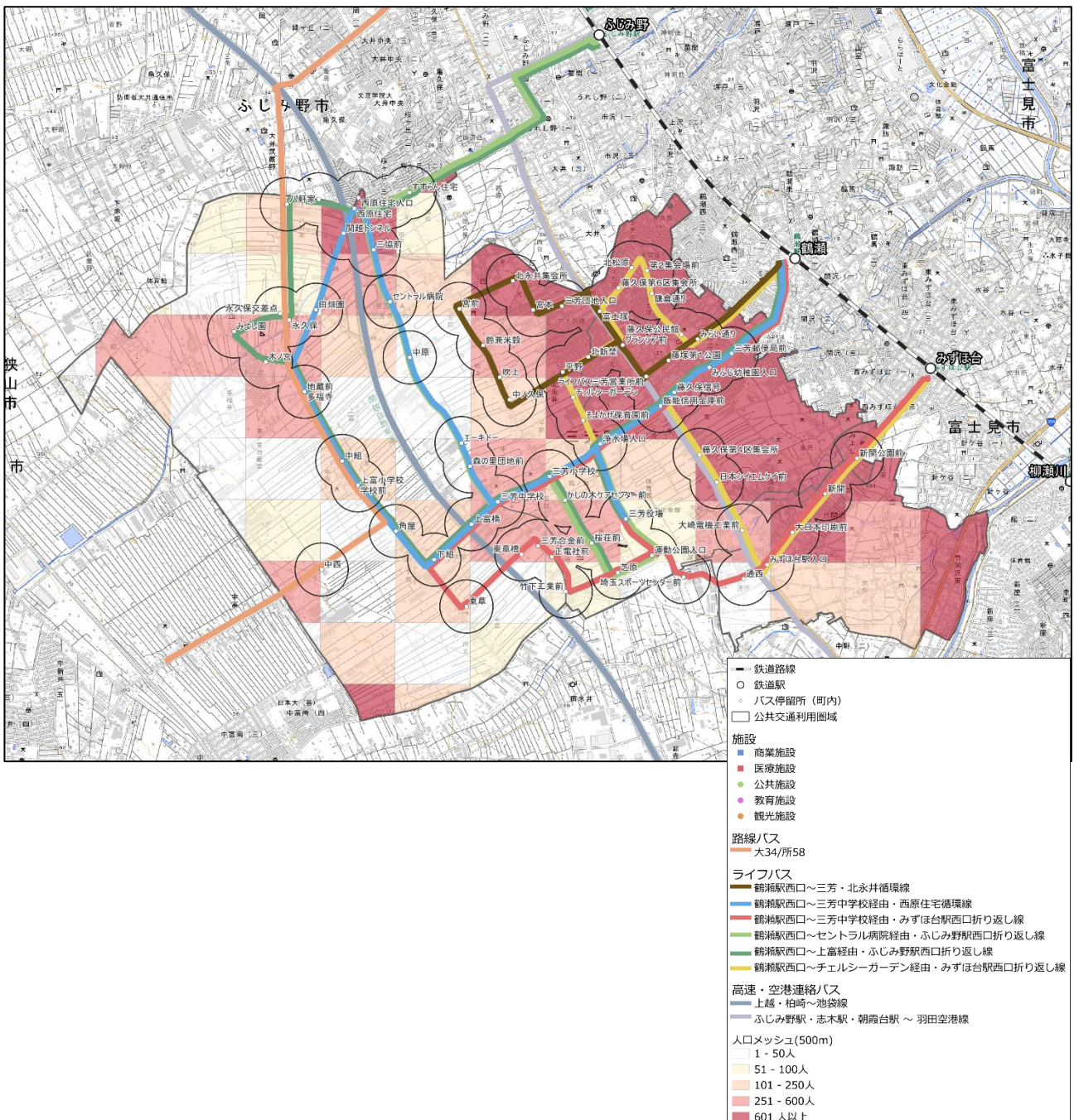
1.2.1 既存の地域公共交通網

町内を運行する路線については、いずれも鉄道駅に接続する形で、近隣市へ乗り入れて運行しています。

藤久保地域東部・上富地区西部及び竹間沢地域の一部では、一定程度の人口集積がみられるものの、公共交通空白地域*（バス停から 200m 以遠かつ鉄道から 800m 以遠の地域）が見られます。

鉄道及びバス交通が利用可能な人口は、約 39,200 人であり、全人口の約 65%となっています。（総務省統計局の令和 2 年国勢調査地域メッシュデータを利用して、鉄道・バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を鉄道については駅から徒歩 800m以内、バスについてはバス停留所から徒歩 200m 以内とした。）

■三芳町の町内の地域公共交通網



■三芳町の地域公共交通の運行概要

町内の公共交通として、計 7 系統の民間路線バスが運行されています。その他では、スクールバスや施設による送迎サービス事業などが運行されています。

運行事業者	路線名	主な経由地	便数	運賃
ライフバス	1 番線 (1 系統) 鶴瀬駅西口～ 三芳・北永井循環線	みらい通り 北永井集会所	26 便/日	220 円 (小児半額)
	4 番線 (4 系統) 鶴瀬駅西口～ 西原住宅循環線	浄水場入口 三芳役場 三芳中学校	20 便/日	
	5 番線 (5 系統) 鶴瀬駅西口～ みずほ台駅西口折り返し線	三芳中学校 三芳合金前 運動公園入口	12 便/日	
	6 番線 (6A 系統) 鶴瀬駅西口～上富経由 ふじみ野駅西口折り返し線	三芳役場 運動公園入口 木ノ宮	7 便/日	
	7 番線 (7A 系統) 鶴瀬駅西口～セントラル病院経由 ふじみ野駅西口折り返し線	三芳役場 運動公園入口 セントラル病院	2 便/日	
	8 番線 (8 系統) 鶴瀬駅西口～ みずほ台駅西口折り返し線	藤久保公民館 三芳役場 日本シイエムケイ前 大日本印刷前	12 便/日	
西武バス	大 34 所沢駅東口～大宮駅西口	上福岡駅入口 (ふじみ野市)	1 往復/日 (平日のみ)	距離制 (※)
	所 58 所沢駅東口・中富～ 上福岡駅西口	八軒家	5.5 往復/日	

※所沢市内の利用は 100 円

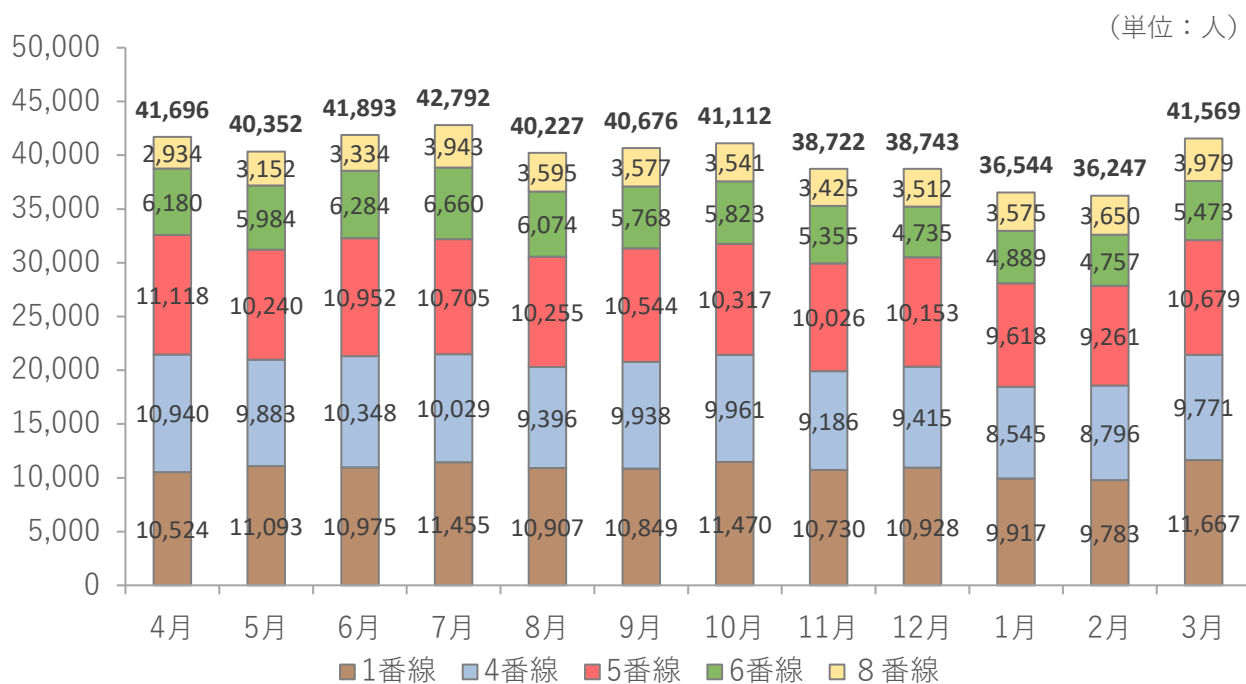
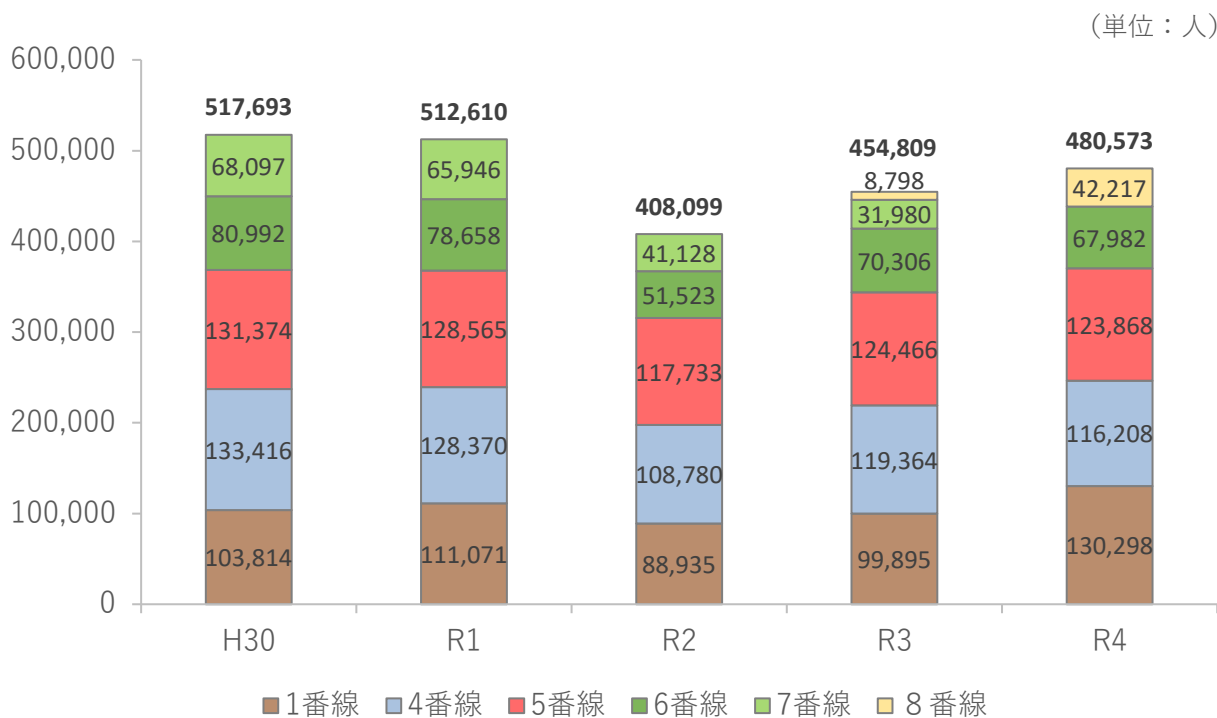
1.2.2 地域公共交通の利用状況

(1) ライフバス

1) 利用者の推移

年度別輸送人員について、令和2（2020）年度は令和元（2019）年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの、令和3（2021）年度、4（2022）年度にかけて増加に転じ、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。また、月別の輸送人数の推移をみると、7月が最も多くなっている。

■ ライフバスの年度別輸送人員の推移

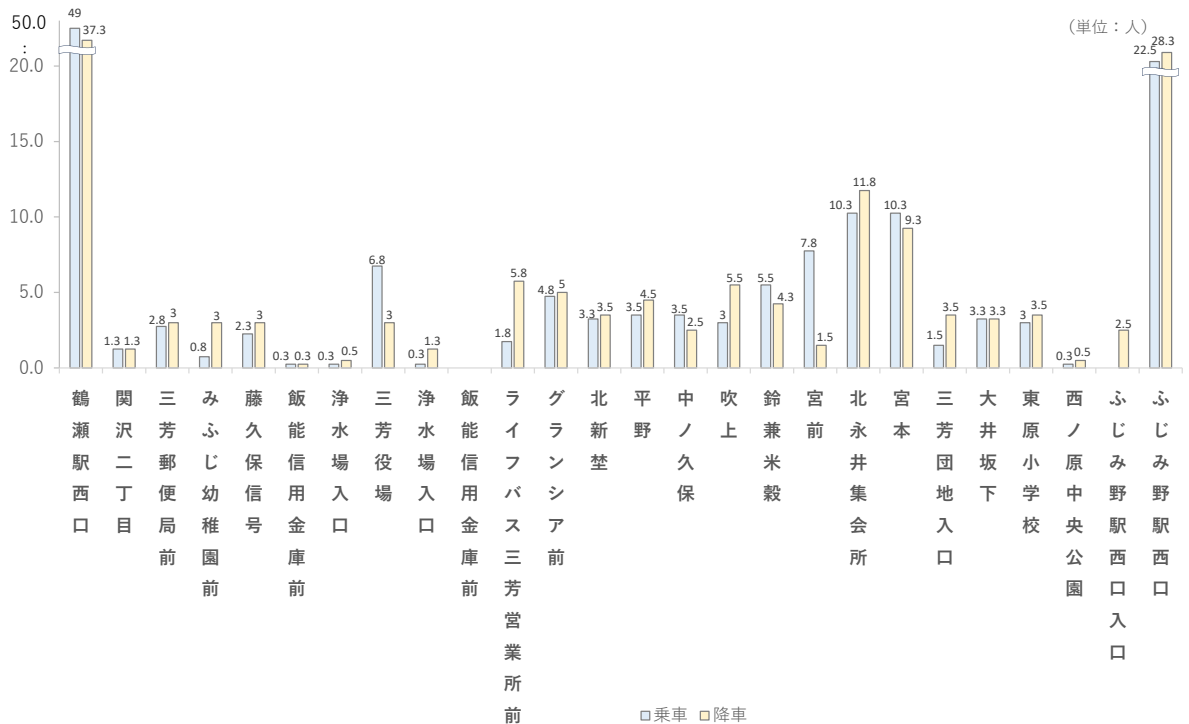
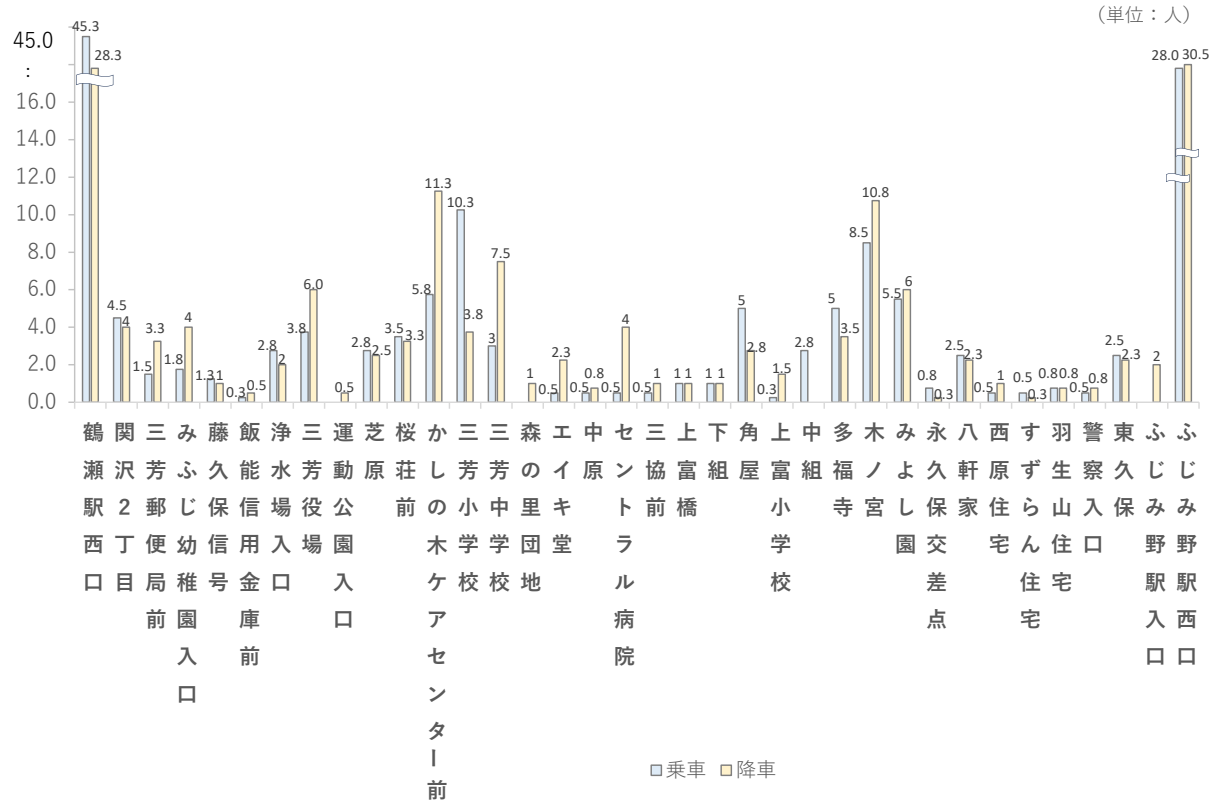


資料：三芳町、(株)ライフバス

2) 利用状況

ライフバス 6、7 番線における直近での停留所別乗降者数をみると、「鶴瀬駅西口」が最も多く、〇〇人/年となっています。次いで、〇〇 (〇〇人/年)、〇〇 (〇〇人/年) が多くなっています。一方、「〇〇」や「〇〇」など利用が著しく少ないバス停も見られます。

■停留所別 1 日あたりの乗降者数 (上：6 番線、下：7 番線・平成 28 年実施)



資料：三芳町、(株)ライフバス

(2) 西武バス

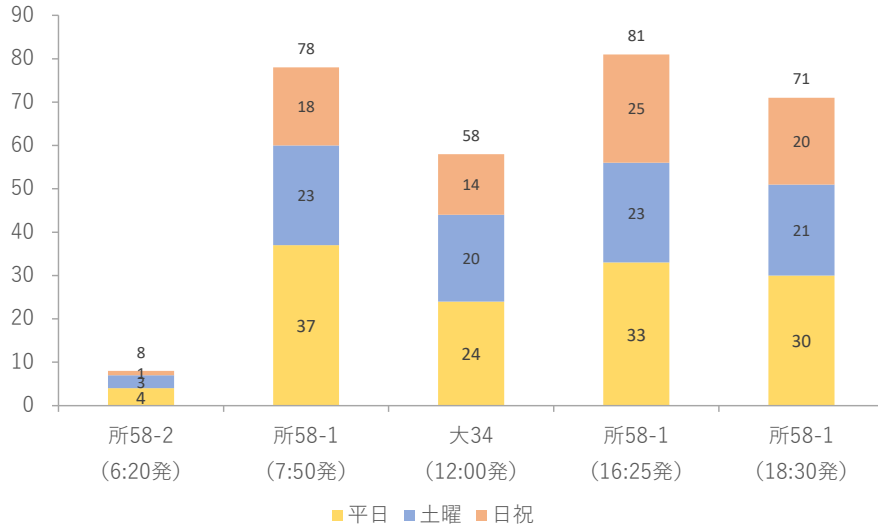
1) 運行便毎の利用者数

三芳町に係る系統の便別利用者数を見ると、いずれの便においても、平日の利用がやや多いものの、早朝便を除く時間帯では一定の利用が見られる。

■西武バス（三芳町経由路線）の1日当たりの便別利用者数

【所沢駅⇒上福岡駅・大宮駅】

(単位：人)



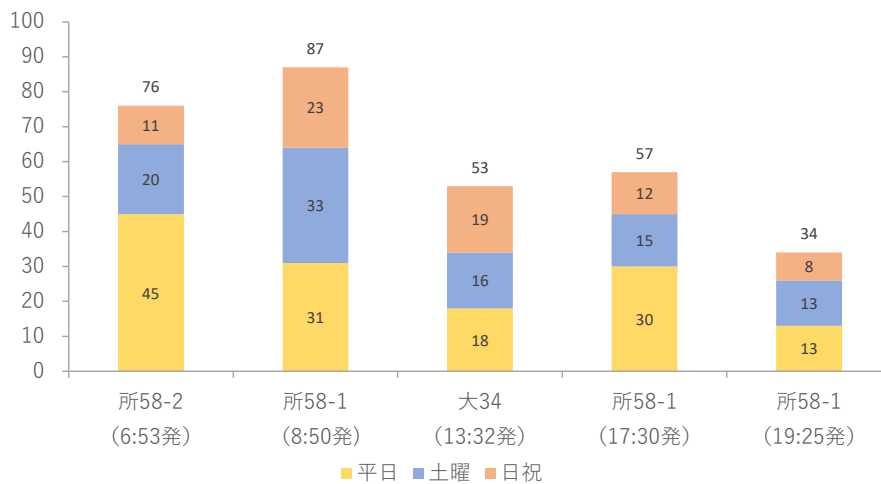
		所58-2 (6:20発)	所58-1 (7:50発)	大34 (12:00発)	所58-1 (16:25発)	所58-1 (18:30発)
時刻	所沢駅東口	6:20 (注)	7:50	12:00	16:25	18:30
	中西	6:23	8:07	12:18	16:42	18:47
	八軒家	6:28	8:12	12:23	16:47	18:52
	上福岡駅西口		8:35	13:18	17:10	19:15
	大宮駅西口	6:45				

※ 着色部分は三芳町内区間

(注)中富(ふじみ野市)始発

【上福岡駅・大宮駅⇒所沢駅】

(単位：人)



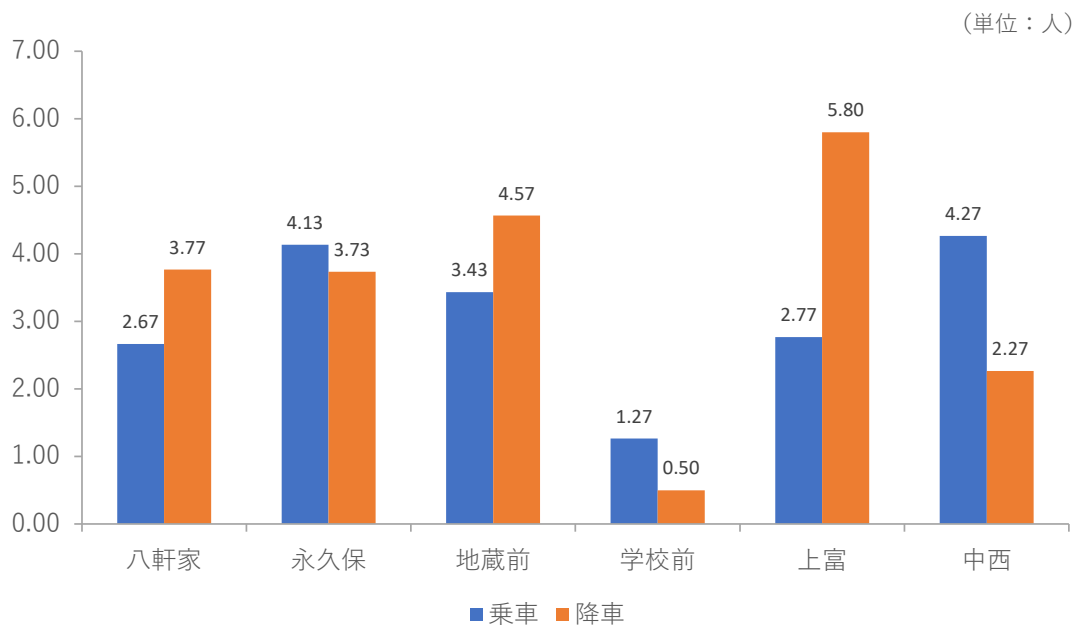
		所58-2 (6:53発)	所58-1 (8:50発)	大34 (13:32発)	所58-1 (17:30発)	所58-1 (19:25発)
時刻	上福岡駅西口	6:53	8:50	13:32	17:30	19:25
	大宮駅西口					
	八軒家	7:03	9:00	14:12	17:40	19:35
	中西	7:08	9:05	14:18	17:45	19:40
	所沢駅東口	7:38	9:35	14:50	18:15	19:43

資料：西武バス（2023年6月の月間実績を基に算出）

2) 停留所別乗降者数（三芳町内停留所）

町内の停留所別乗降者数を見ると、上富、地藏前、永久保が特に利用が多い。また、上富では降車人数が乗車人数の約2倍、中西では乗車人数が降車人数の約2倍となっている。

■西武バスの1日あたりの町内停留所別乗降者数



資料：西武バス（2023年6月の月間実績を基に算出）